



大阪広域水道企業団



# ANNUAL REPORT 2021

令和2年度 年次報告書





# 目 次

## はじめに

- 1 大阪広域水道企業団の沿革 ..... 1
- 2 経営戦略 2020-2029 について ..... 1
- 3 アニュアルレポートについて ..... 1

## ハイライト

- 1 事業別実績 ..... 3
- 2 府域水道事業の広域化 ..... 6
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響と対応 ..... 7

## 事業編

- 1 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します.. 9
- 2 構成団体と相互連携しながら、災害などに迅速に対応します ..... 15
- 3 安全で良質な水をお届けします ..... 16
- 4 さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します ..... 17
- 5 水道事業の全体最適化に向け、府域一水道をめざします ..... 18
- 6 エンドユーザーの立場に立ち、お客さまサービスの向上に努めます ... 20
- 7 社会的責務を果たし、信頼される企業団をめざします ..... 21

## トピックス ..... 23

## 財務編

- 1 財政収支 ..... 25
- 2 経営評価 ..... 33

## 組織／ガバナンス

- 1 組織 ..... 39
- 2 首長会議・運営協議会 ..... 41
- 3 経営・事業等評価委員会 ..... 41
- 4 企業団議会 ..... 42
- 5 監査 ..... 44

## 経営戦略 2020-2029 の進捗状況 ..... 45

表紙  
(上) 狭山池橋水管橋 (橋脚補強)  
(中) 千里浄水池 (池内部)  
(下) 千里浄水池 (管廊)

### 1 大阪広域水道企業団の沿革

大阪広域水道企業団（以下「企業団」）は、府内42市町村を構成団体とする一部事務組合（特別地方公共団体）として平成22年11月に設立され、平成23年4月から、旧大阪府水道部の水道用水供給事業、工業用水道事業を承継して、事業を開始しました。

また、平成29年4月から四條畷市・太子町・千早赤阪村、平成31年4月から泉南市・阪南市・豊能町・忠岡町・田尻町・岬町、令和3年4月から藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町の水道事業（以下「水道事業」）を担っています。（能勢町は令和6年4月1日事業開始）

企業団の設立に当たり、次の理念を定め、事業活動の基本としています。

#### 【大阪広域水道企業団の理念】

- 一、維持管理・施設更新の時代にふさわしい、効率的な事業運営に努めます
- 一、災害に強い水道施設の整備を行います
- 一、府域の水道事業の効率化をめざし、広域化を進めます
- 一、技術を受け継ぎ、更なる向上をめざします
- 一、大規模事業者として、社会的責務を果たします

### 2 経営戦略 2020-2029 について

「持続・安全・強靱」の観点から設定した7つの施策の方向性に基づき、令和2年度から令和11年度の10年間における具体的な事業内容、目標値及びロードマップを示す「経営戦略 2020-2029」（以下「経営戦略」）を令和元年度に策定しました。

### 3 アニュアルレポートについて

「大阪広域水道企業団将来構想」及び「経営戦略」に基づき企業団がめざす方向性を示しながら、1年間の事業活動や経営状況、環境保全のための取組などを報告するため、本レポートを作成しています。

作成に当たっては、学識経験者等の第三者から構成される「経営・事業等評価委員会」の審議に諮るとともに、PDCAの観点から計画の進行管理を行い、社会情勢の変化に的確に対応していきます。

## 経営戦略 2020-2029

### 《水道用水供給事業》



大阪府内の42市町村（企業団が水道事業を実施している13市町村を含む。）に、総使用水量の約75%の水道用水を供給しています。

### 《水道事業》



平成29年4月1日から市町村の水道事業との統合を開始し、現在、大阪府内の13市町村のご家庭などに直接水道水をお届けしています。

### 《工業用水道事業》



府内約420社の受水事業所に工業用水を供給しています。

### 施策の方向性

① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します

持続

安全

強靱

② 構成団体と相互に連携しながら、災害などに迅速に対応します

持続

強靱

③ 安全で良質な水をお届けします

安全

④ さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します

持続

⑤ 水道事業の全体最適化に向け、府域一水道をめざします

持続

⑥ エンドユーザーの立場に立ち、お客さまサービスの向上に努めます

持続

⑦ 社会的責務を果たし、信頼される企業団をめざします

持続

1 事業別実績

《水道用水供給事業》

(括弧内は経営戦略における令和11年度末の目標値)

概況

浄水施設  
耐震化率

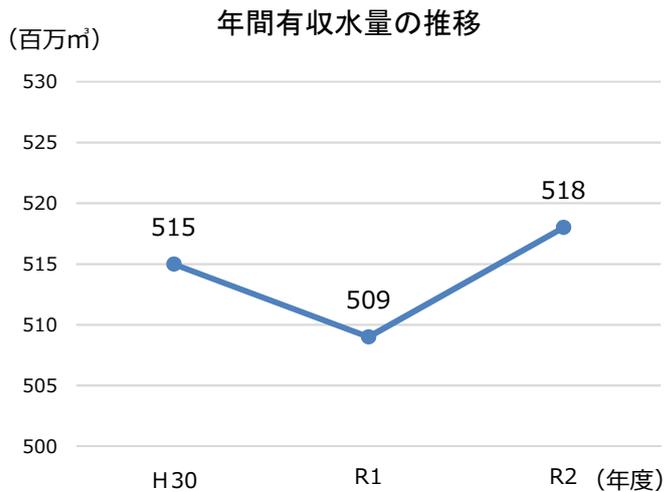
**32%**  
(52%)

浄水池等  
耐震化率

**36%**  
(48%)

管路  
耐震管率

**47%**  
(51%)

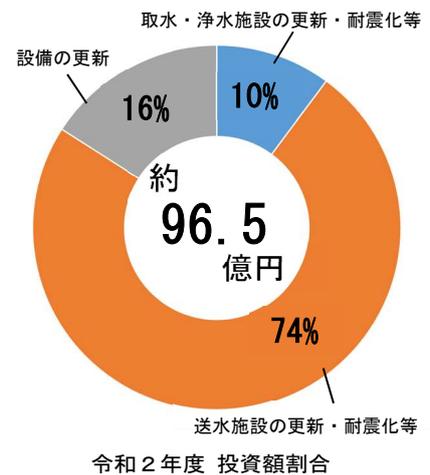
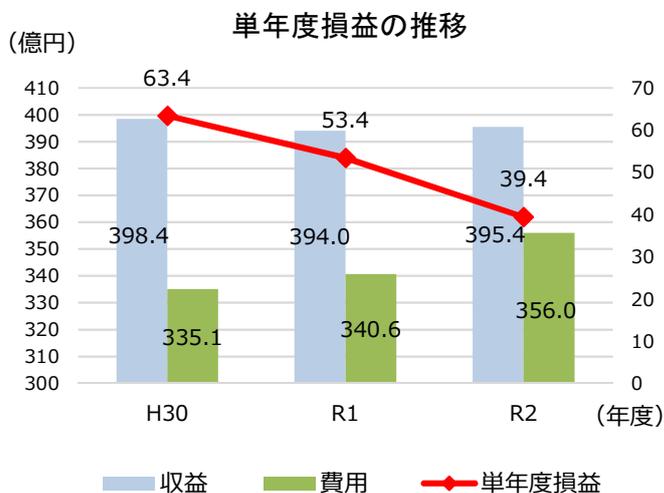


令和2年度の年間有収水量は、約5.2億m³で、前年度より約1.7%増加しました。

令和2年度末の耐震化率は、浄水施設32%、浄水池36%、管路47%となり、令和元年度末と比較して浄水池の耐震化率が2%向上しました。

財務

令和2年度  
投資額  
**96.5億円**



令和2年度の単年度利益は、約39.4億円で、新型コロナウイルス感染症による影響を勘案した料金軽減を実施したことなどにより、前年度より約14億円減少しました。

水道事業の統合により、平成 30 年度と令和元年度以降では事業数が異なっています。

H30：3 水道事業連結  
R1～：9 水道事業連結

《水道事業》

概況

浄水施設  
耐震化率

**39%**  
(51%)

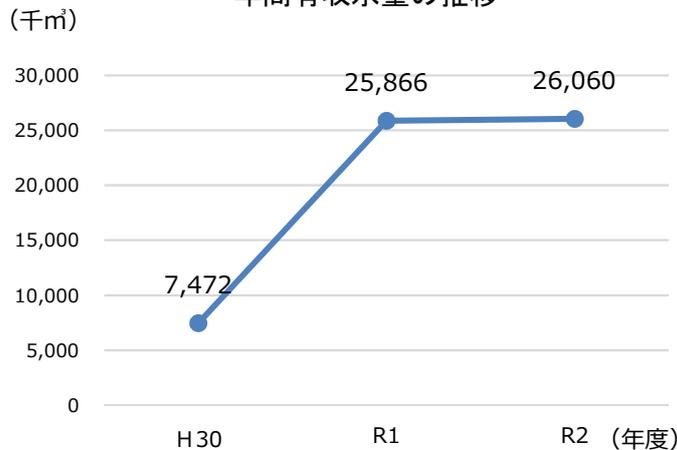
配水池  
耐震化率

**36%**  
(47%)

管路  
耐震管率

**15%**  
(20%)

年間有収水量の推移



令和 2 年度の年間有収水量は、約 2,606 万 m³ で、前年度並みとなりました。

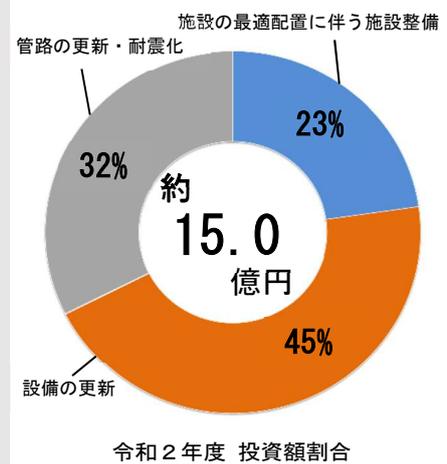
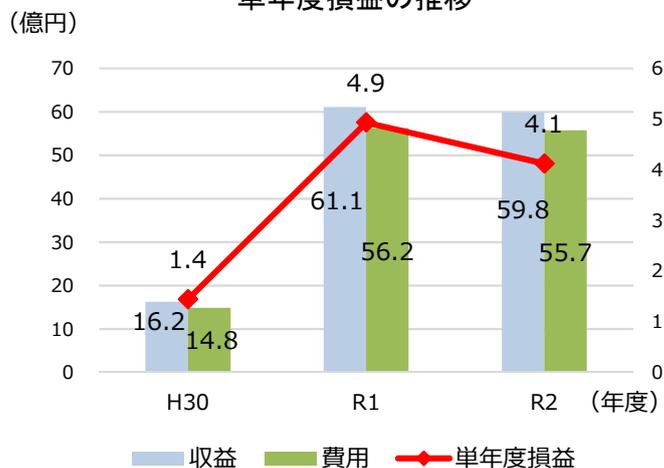
令和 2 年度末の耐震化率は、浄水施設 39%、配水池 36%、管路 15% となり、令和元年度末と比較して管路の耐震管率が 1% 向上しました。

財務

令和 2 年度  
投資額

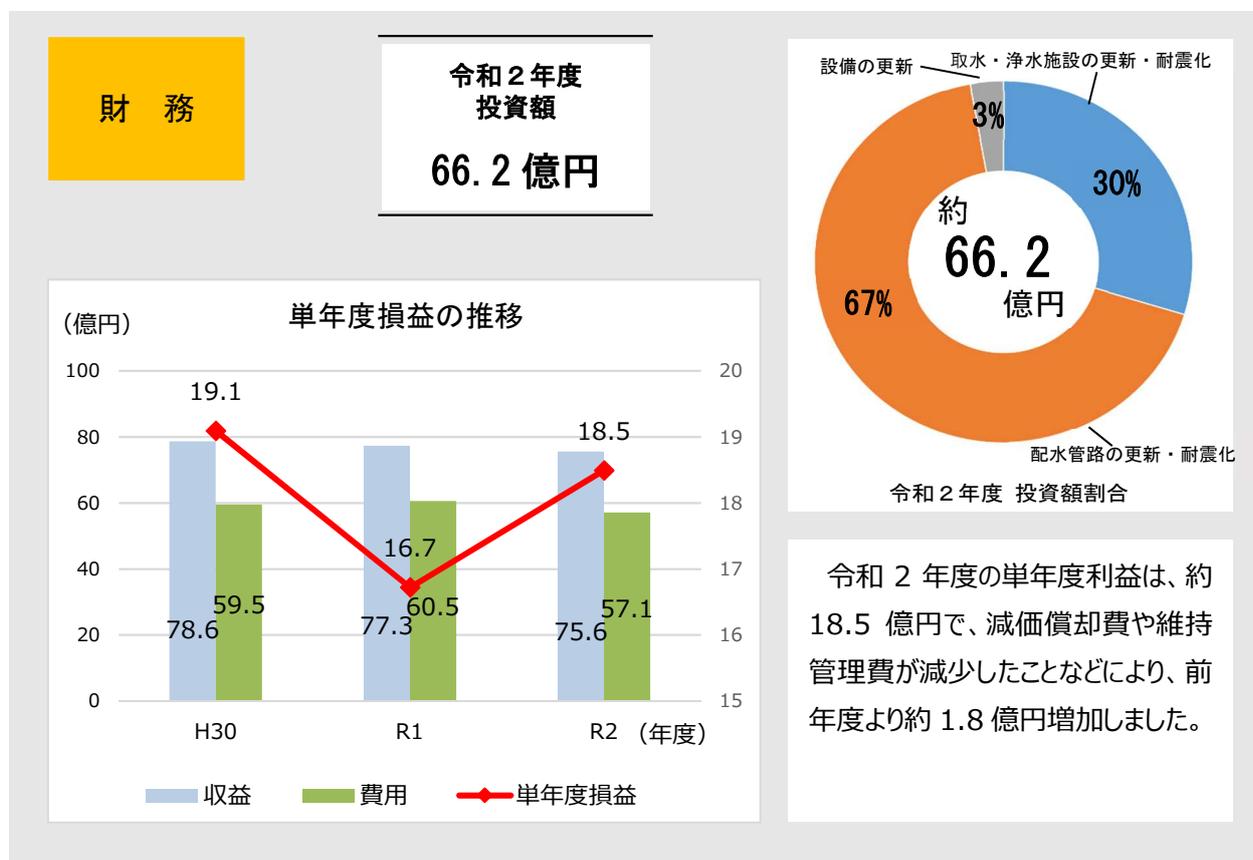
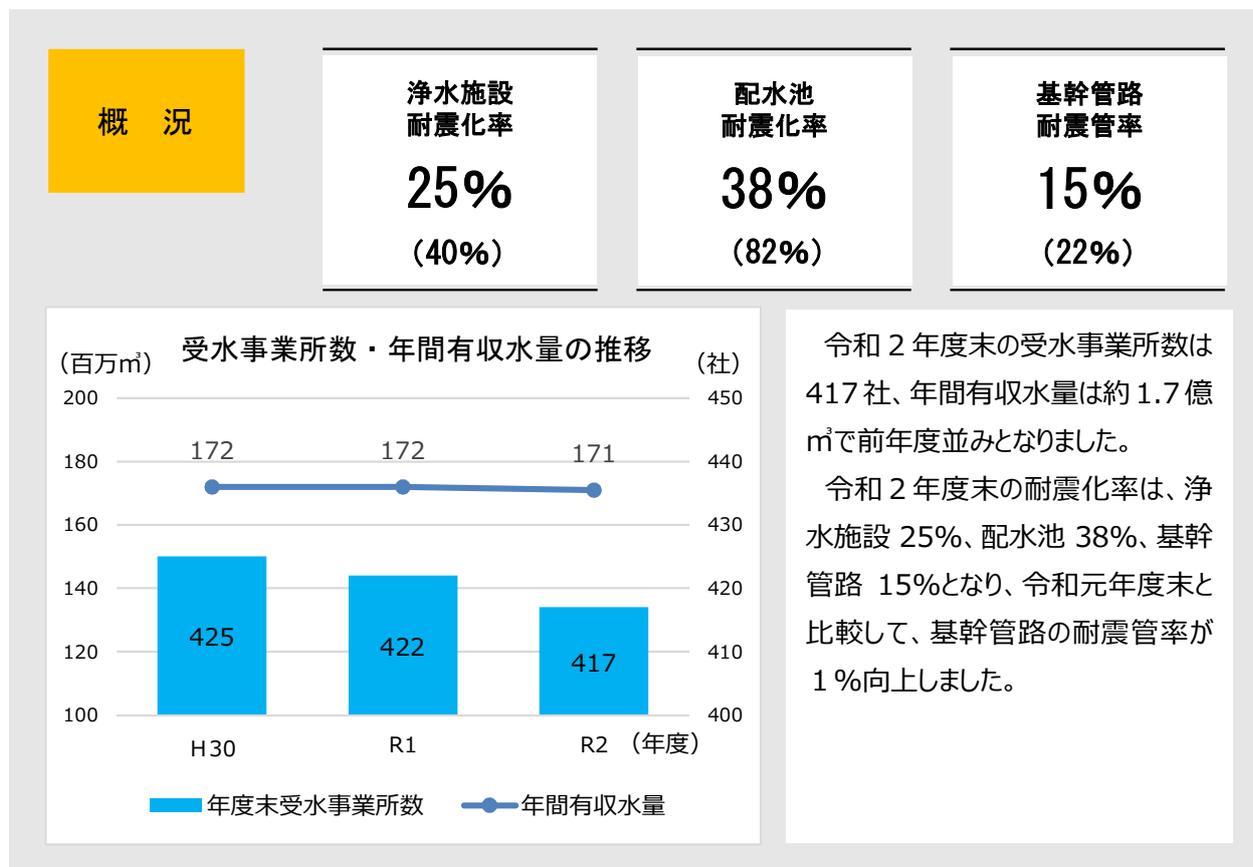
**15.0 億円**

単年度損益の推移



令和 2 年度の単年度利益は、約 4.1 億円で、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案した水道料金の減免を実施したことなどにより、前年度より約 0.8 億円減少しました。

《工業用水道事業》



## 2 府域水道事業の広域化

府域水道事業の効率化や運営基盤の強化を図るため、企業団と市町村水道事業との統合を進めています。

平成 29 年 4 月から 3 団体、平成 31 年 4 月から 6 団体、令和 3 年 4 月から 4 団体の水道事業を企業団が担っています。(能勢町は令和 6 年 4 月 1 日事業開始)

14 団体 / 42 団体 (企業団の構成団体(市町村))



藤井寺・大阪狭山・熊取・河内 水道センター開所式



凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange; border:1px dashed black;"></span>	…平成 29 年度から統合した 3 団体
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow; border:1px dashed black;"></span>	…令和元年度から統合した 6 団体
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:green; border:1px dashed black;"></span>	…令和 3 年度から統合した 4 団体
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow; border:1px dashed black;"></span>	…令和 6 年度から統合する 1 団体

### 3 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

#### 有収水量の動向

新型コロナウイルス感染症の影響を含めた令和2年度の有収水量の動向については、次のように分析しています。

##### 「水道用水供給事業」

年間有収水量は518百万 $m^3$ （前年度比1.7%増）となり、ほぼ前年度並みとなりました。増加要因は、大阪市を除く府内総配水量（企業団水+各市町村の自己水）が前年度から0.7%増加したことによるものです。これは新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う家庭用水の増加の影響があると分析しています。その他の要因としては、市町村における自己水施設の工事等により企業団水を利用する割合が前年度から増えたことが挙げられます。

##### 「水道事業」

9水道事業の年間有収水量は26百万 $m^3$ （前年度比0.8%増）となり、ほぼ前年度並みとなりました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、家庭用水が増加し、営業用水が減少する傾向がみられましたが、各事業とも大きな変動はありませんでした。

##### 「工業用水道事業」

年間有収水量は171百万 $m^3$ （前年度比0.5%減）となり、ほぼ前年度並みとなりました。

一方、実使用水量は前年度に比べ4.6%減少しています。受水事業所数の減少や受水事業所固有の要因による使用水量の減少のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により使用水量が減少した受水事業所があったことも要因のひとつと分析しています。

#### 料金の軽減・減免等

新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、料金の軽減・減免等を実施しました。

	対 応	内 容
水道用水供給事業	料金の軽減	令和2年4月～7月の検針分について、料金を1 $m^3$ 当たり10円軽減
水 道 事 業	料金の減免	基本料金の減免 <sup>※</sup>
	料金の支払猶予	支払困難者からの申し出により、個別対応
工業用水道事業	料金の支払猶予	検針日が6月8日～8月26日の期間中、支払が困難となった受水事業所からの申し出により、支払期日を猶予

※水道事業における料金の減免については、統合元の市町村の意向に基づき、期間や減免額を決定しています。

##### 各水道事業の減免期間（令和2年度実施分）

泉南	四條畷	阪南	豊能	忠岡	田尻	岬	太子	千早赤阪
6か月	2か月	3か月	4か月	7か月	10か月	10か月	10か月	6か月

業務実施体制



企業団では、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集、まん延状況に応じた感染防止対策の実施や出勤抑制、事業継続の体制維持に取り組んでいます。

また、接触機会の低減が求められる中、ウェブ会議システムを導入し、運営協議会等の外部との会議にも使用しています。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取組】

- 職員の健康管理の徹底
- 飛沫感染の防止
  - ・ 共用物品や機器等の日々の消毒
  - ・ 窓口カウンターや執務机間の間仕切りの設置
- 職場等の密の緩和、接触による感染リスクの低減
  - ・ 在宅勤務（テレワーク）、時差通勤の実施
  - ・ ウェブ会議の積極的な活用
  - ・ 出張の抑制
- 事業継続のための取組
  - ・ 委託業者との連絡体制
  - ・ 必要物資の確保
  - ・ 要員の確保

工事等への影響と対応

受注者からの申し出に基づき、企業団が発注した建設工事、測量・建設コンサルタント業務等の一部において、工期や履行期間を延長しました。

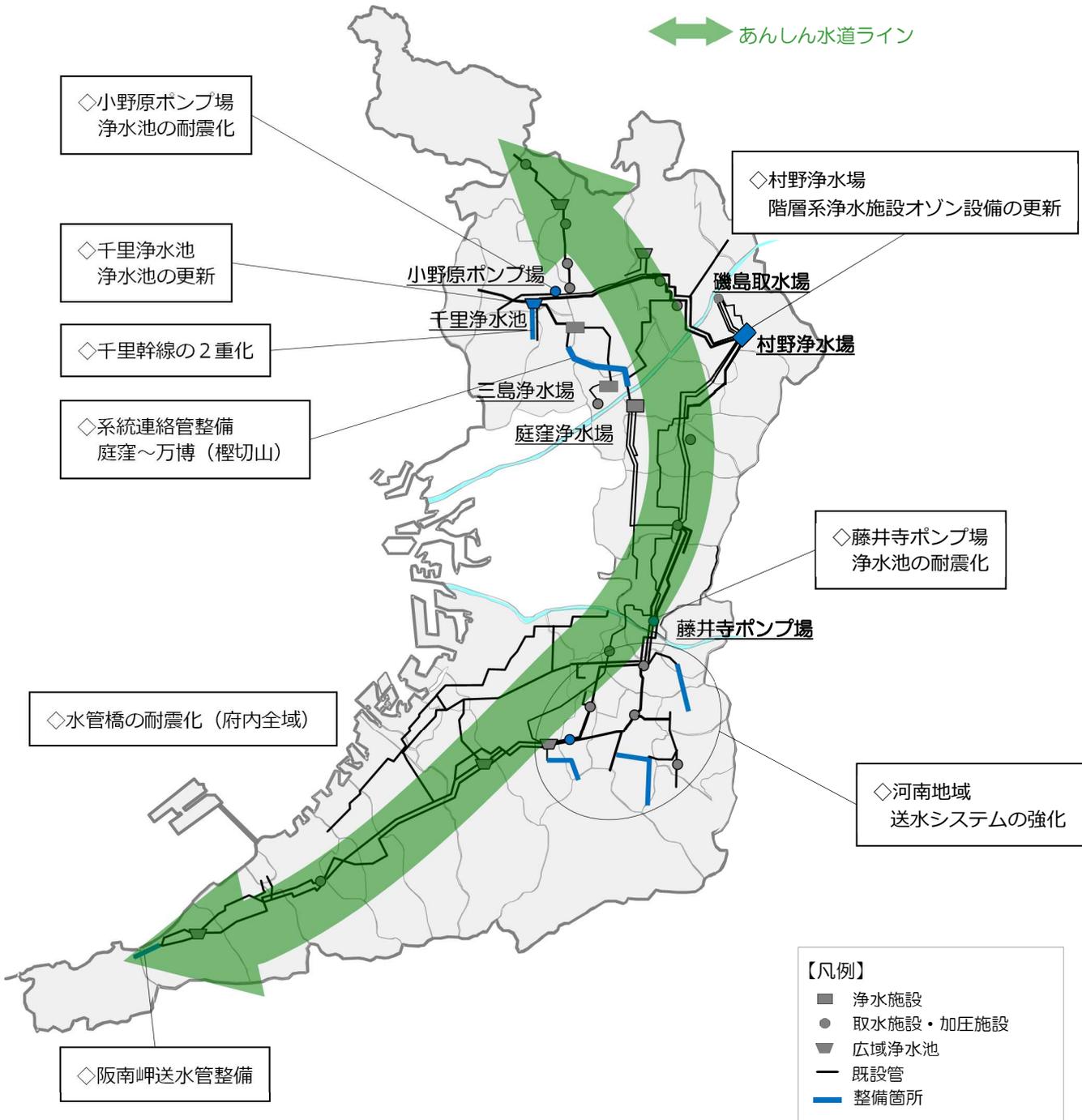
これにより、水道用水供給事業5件、市町村域水道事業2件、工業用水道事業1件の予算繰越しが発生しましたが、工程調整などにより、事業進捗への影響を最小限に抑えています。

## 事業編

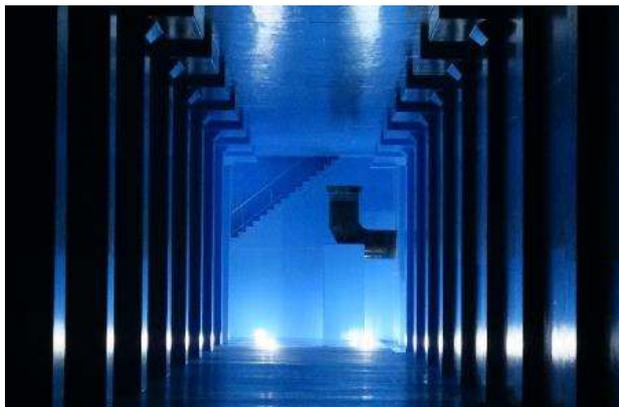
### 1 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します

#### 《水道用水供給事業》

経営戦略期間中の事業費を2,056億円と定め、着実に事業を推進しています。令和2年度の執行額は約96.5億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



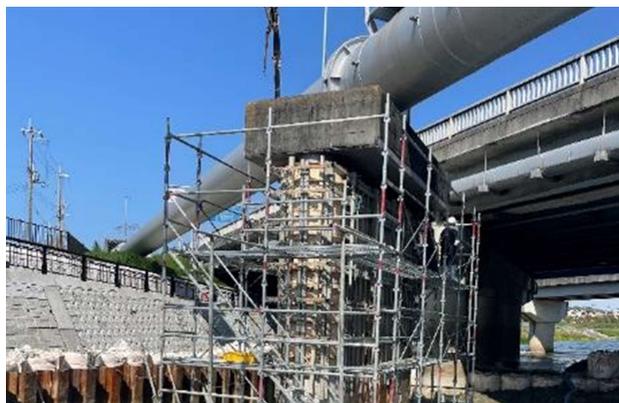
## 送水施設の更新・耐震化



浄水池の更新（千里浄水池）

主要なポンプ場や浄水池の更新・耐震化を実施しており、北大阪地域への送水施設として重要な千里浄水池において、水運用を継続しながら更新を進めています。

令和2年度は、新2号池の築造工事が完成しました。



水管橋の耐震化（狭山池橋水管橋）

施設の重要度、事故時の影響度を考慮し、計画的に水管橋の耐震補強を行っています。

令和2年度は、狭山池橋水管橋の橋脚等2橋の耐震化工事を実施しました。

## 設備の更新



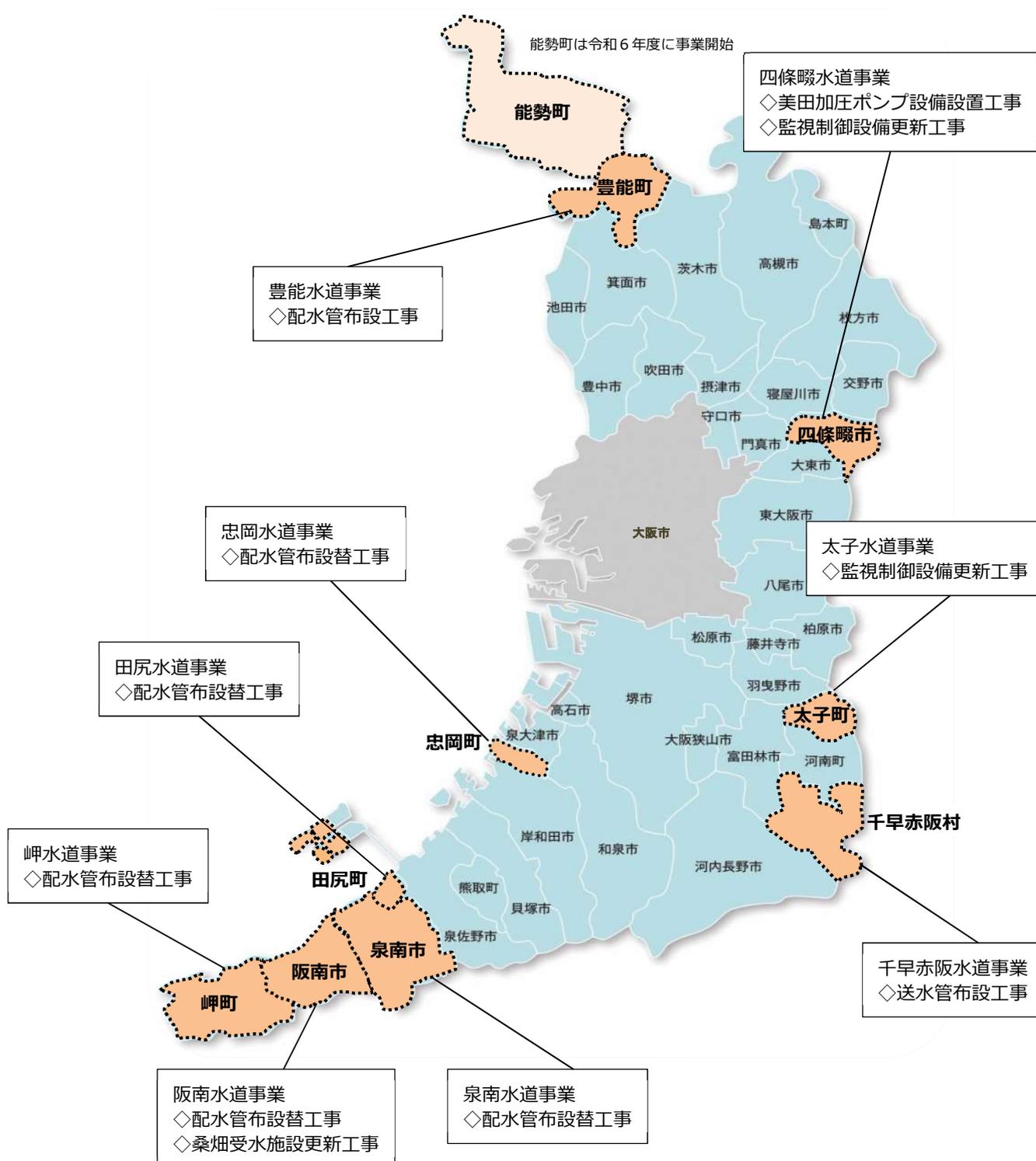
階層系浄水施設オゾン設備の更新（村野浄水場）

設備診断等による老朽度の評価や適切な保守点検、補修を行い、設備の長寿命化を図りつつ、更新を行っています。

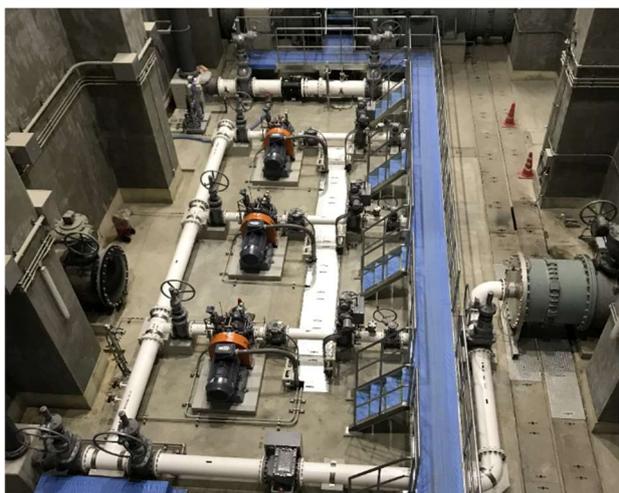
令和2年度は、村野浄水場階層系浄水施設においてオゾン設備を更新しました。

《水道事業》

経営戦略期間中の事業費を約185億円と定め、着実に事業を推進しています。令和2年度の執行額は約15億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



### 施設の最適配置



美田加圧ポンプ設備設置工事（四條畷水道事業）

企業団との統合のメリットを活かし、水道用水供給事業の用地を活用した施設の最適配置を行っています。

#### ○四條畷水道事業

更新時期を迎えたポンプ場を廃止し、その機能を水道用水供給事業の施設である四條畷ポンプ場内に移転することにより、整備費等を縮減するとともに、残存水圧の活用による動力費の低減などコスト縮減を図ります。

令和2年度は、送水ポンプ設備3台・監視制御設備の設置等を行いました。

### 設備の更新



監視制御設備更新工事（太子水道事業）

お客さまへ安定して水道水をお届けするため、老朽化した設備の計画的な更新を進めるとともに、災害等を想定し、様々な対策を講じています。

#### ○太子水道事業

災害やトラブル時の情報共有による初期対応の迅速化を図るため、タブレット端末でも情報を確認できるようにします。

令和2年度は、監視制御設備の更新を完了しました。

### 管路の更新・耐震化



配水管布設替工事（泉南水道事業）

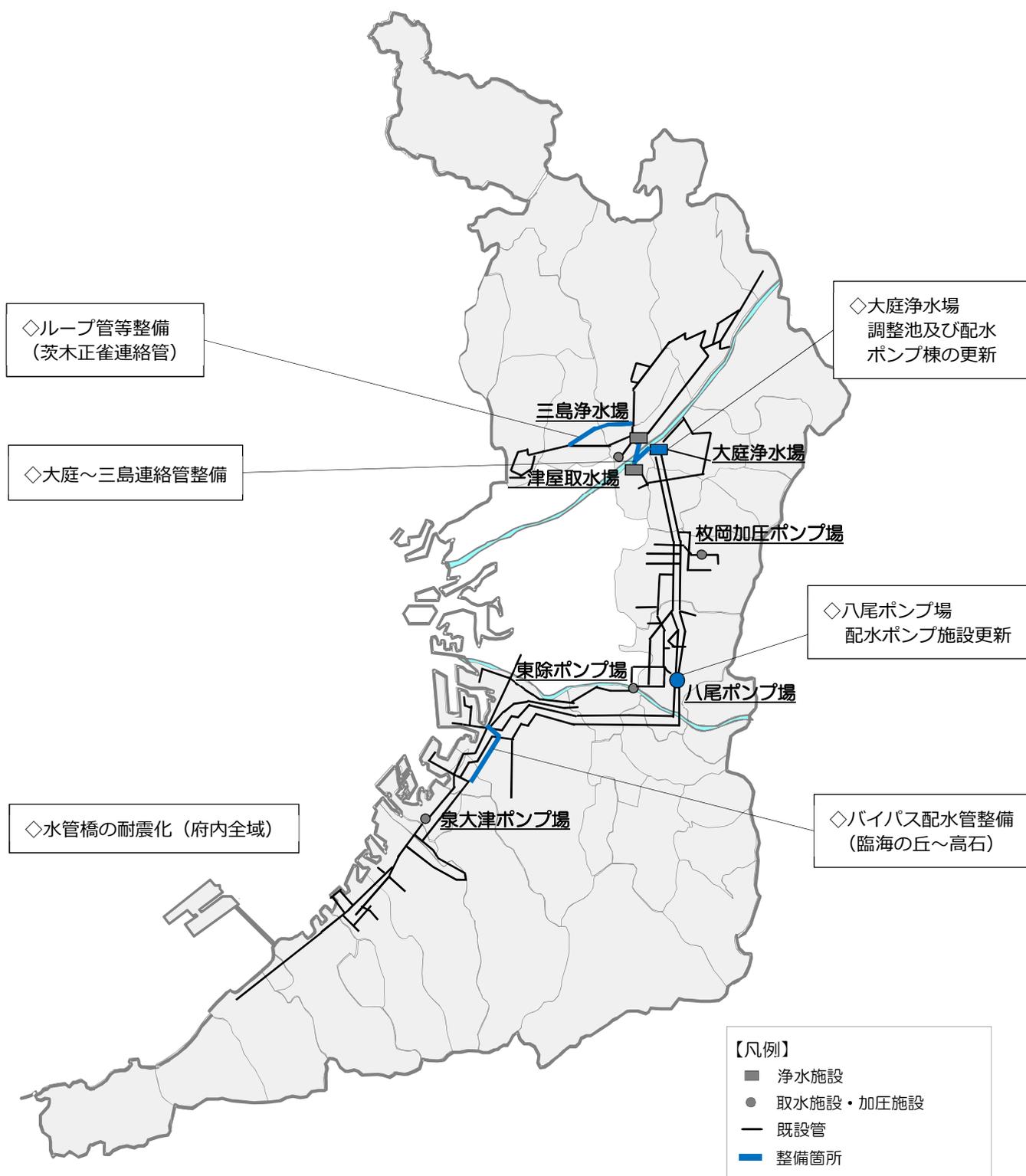
震災時においても安定して水道水をお届けすることができるよう、老朽化した管路の更新及び耐震化を行っています。

令和2年度は、9水道事業合計で約4.8kmの更新・耐震化を実施しました。

## 事業編

### 《工業用水道事業》

経営戦略期間中の事業費を 568 億円と定め、着実に事業を推進しています。令和 2 年度の執行額は約 66.2 億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



### 取水・浄水施設の更新・耐震化



調整池及び配水ポンプ棟の更新（大庭浄水場）

基幹浄水場である大庭浄水場において、水需要に応じた規模で施設の更新・耐震化を実施しています。

令和2年度は、調整池及び配水ポンプ棟の整備に伴い、工事用仮設栈橋、調整池基礎杭の施工等を行いました。

### 管路の更新・耐震化



配水管の整備（茨木正雀連絡管）

近年多発している漏水事故を未然に防止するとともに、阪神・淡路大震災クラスの地震にも対応できるよう、老朽化した管路の更新及び耐震化を行っています。

令和2年度は、約1.8kmの更新・耐震化を実施しました。

### バイパス配水管の整備



バイパス配水管の整備（臨海の丘～高石）

事故等による配水停止の影響が大きい「八尾市新家～忠岡町」間のバックアップ機能、管路更新時の代替能力及び耐震性を確保するため、バイパス配水管を整備しています。

令和2年度は、「臨海の丘～高石」間のバイパス配水管の整備に伴い、シールド工法により約2.2kmのトンネル掘削等を行いました。

## 2 構成団体と相互連携しながら、災害などに迅速に対応します

### 加圧式給水車の配備



企業団では、災害時における応急給水体制の強化を図るため、東部水道事業所に新たに加圧式給水車を1台配備しました。これにより、加圧式給水車は計3台（豊能、岬水道センター各1台）となりました。

### 各種訓練の実施

企業団では、災害、事故時等に迅速かつ適切な応急対応を行うため、企業団単独の訓練に加え、大阪府、府内33市町等府内関係機関や、他県の水道用水供給事業者との合同訓練を実施しています。

また、これらの訓練を通じて判明した課題に適切に対応していくため、組織対応力の強化に向けた検討や既存マニュアルの見直しを適宜行うなど、災害等不測の事態に備えています。

#### 【企業団単独の訓練】

- ・ 配備体制訓練（令和2年6月）
- ・ 危機管理訓練（令和2年9月）
- ・ 応急給水訓練（令和2年10月）

#### 【他の水道事業者との合同訓練】

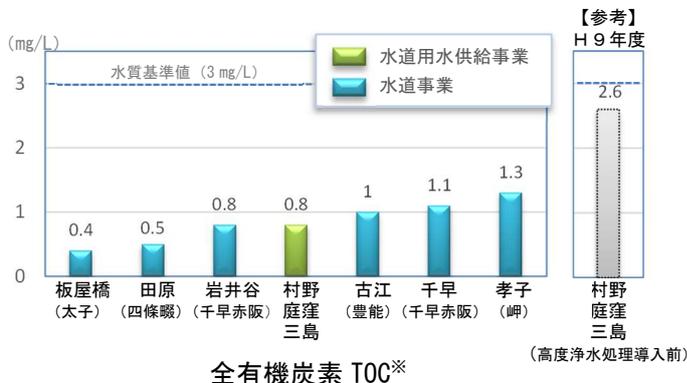
- ・ 府内の市町等も参加した日本水道協会大阪府支部との震災対策合同訓練（令和2年11月）
- ・ 遠隔地の協定事業者との訓練※（令和3年1月）

※令和2年度は埼玉県企業局との情報伝達訓練のみ実施



### 3 安全で良質な水をお届けします

#### 原水の水質に応じた浄水処理



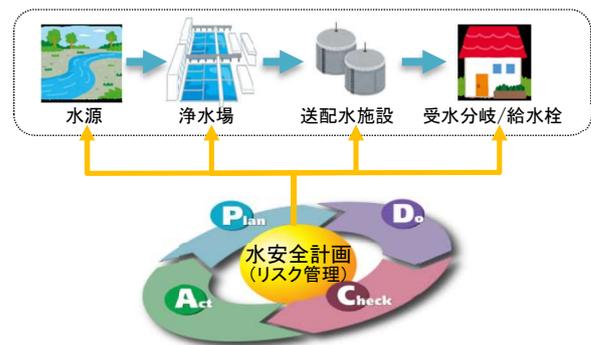
後ろ過設備  
(庭窪浄水場)

※ 水中の全ての有機物の総量を表す指標で、水のおいしさにも影響するものです。  
グラフには令和2年度の浄水場浄水の最高値を示しています。

水道用水供給事業では、水源である淀川のかび臭や有機物等を高度浄水処理により、水道事業では、地下水や伏流水など様々な原水水質に応じて、膜処理や紫外線処理などにより、良質な水を供給しています。

令和2年度は、粒状活性炭吸着池からの微粉炭や微小生物などの漏出リスク対策として、既存浄水処理の最終工程へのろ過設備導入や施設更新にあわせた処理フローの見直しに係る基本設計を実施しました。

#### 水源から受水分岐・給水栓までの水質管理



水源から受水分岐 (水道用水供給事業)・給水栓 (水道事業) までのリスクを管理する水安全計画を適切に運用し、総合的な水質管理を行っています。

水道水の安全性を確認する水質検査については、試験所品質マニュアルを作成し、適切な手順で実施しています。また、厚生労働省等が実施する「外部精度管理※」に参加することで検査精度の信頼性の確保に努めています。

※同一濃度の試料を複数の検査機関で検査し、各機関の報告データを解析することで個々の精度を客観的に評価する取組

4 さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します

工業用水道事業の料金改定等

基本使用水量（契約水量）と使用水量の乖離の状況を踏まえて、新たな減量制度を創設しました（基本使用水量の減量は令和3年度及び令和8年度に実施予定）。

あわせて、全ての受水事業所の負担を軽減するため、令和3年1月に料金改定（値下げ）を実施しました。

○新たな減量制度の創設

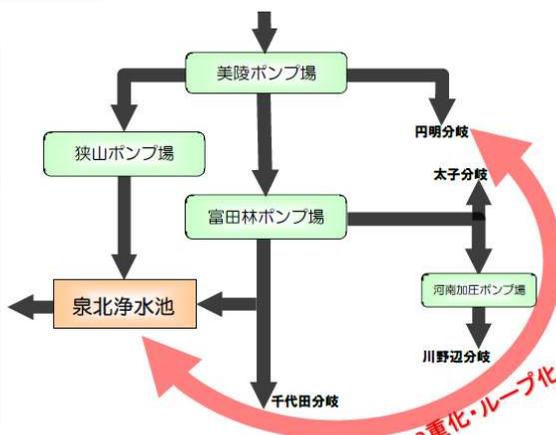
減量規模等	8万m <sup>3</sup> /日（令和3年度、令和8年度に各4万m <sup>3</sup> /日実施予定） ※令和3年度については、基本使用水量と使用水量の乖離が大きい受水事業所に減量枠を優先的に配分
特別減量負担金の新設	減量水量×（基本料金（31.3円）×365日×5年）

○料金改定

（単位：円/m<sup>3</sup>）

	改定前	改定後	差額
基本料金単価	32.4	31.3	△1.1
使用料金単価	10.4	8.8	△1.6
超過料金単価	85.6	80.2	△5.4

官民連携の推進



事業年度：  
令和3～11年度  
管路延長：  
約22km

河南地域の送水システム強化のイメージ図

管路整備をより効率的、効果的に推進するため、民間事業者が有する独自技術（ノウハウ）を活用しながら、コスト縮減や工期の短縮をめざす「設計・施工一括発注方式（管路DB）」を導入することとし、令和2年度に、水道水供給事業の河南連絡管と千早赤阪水道事業の村内連絡管の整備を総合評価一般競争入札により、一体的に発注しました。

5 水道事業の全体最適化に向け、府域一水道をめざします

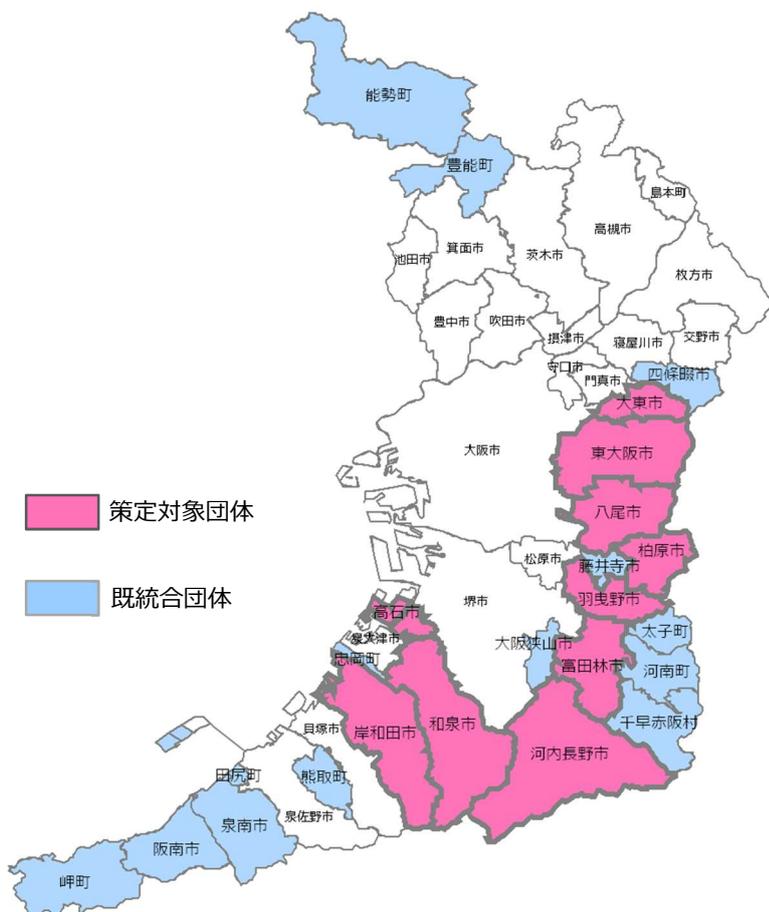
府域水道事業の広域化に向けた取組

企業団では、大阪府が策定した「おおさか水道ビジョン」に基づき、企業団を核とした府域一水道の実現をめざしており、令和2年度は次の取組を推進しました。

I 広域化を加速させるための新たな取組「最適配置案等の策定（中間報告）」

企業団との統合を視野に入れている10団体と、統合を契機に可能と考えられる水道施設の統廃合案（以下「最適配置案」）の抽出及び最適配置案を実施した場合の効果を算出し、「中間報告」として取りまとめました。

<策定に参画している団体の概要>



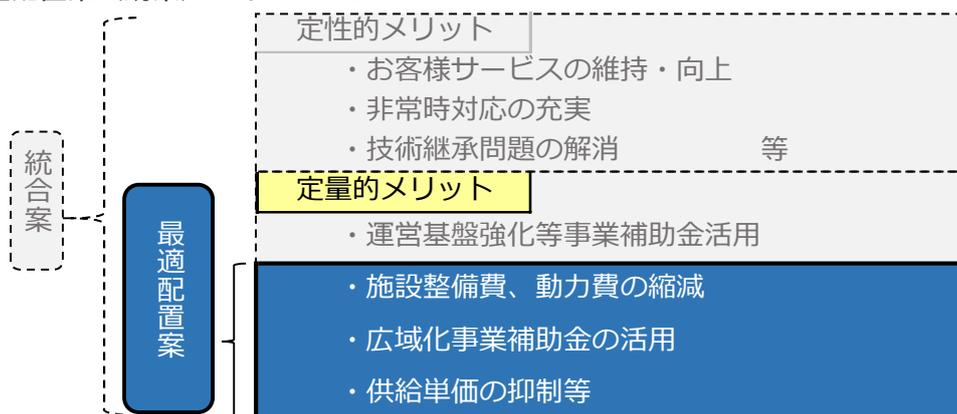
	団体名	給水人口（人）※
東部	東大阪市	489,121
	八尾市	267,019
	大東市	120,772
河南	富田林市	111,620
	羽曳野市	109,084
	河内長野市	105,363
	柏原市	70,071
阪南	岸和田市	194,723
	和泉市	184,578
	高石市	57,930

※大阪府の水道の現況（平成30年度版）及び各団体の住民基本台帳（H31.3）により算出

企業団との統合に係る覚書を締結後に策定する「統合案」では、非常時対応の充実などの<定性的メリット>及び運営基盤強化等事業補助金の活用などの<定量的メリット>について検討を行い、取りまとめています。

最適配置案等の策定では、このうち<定量的メリット>の一部である、施設整備費、動力費の縮減や広域化事業補助金の活用による効果を取りまとめ、統合に係る覚書を締結するかどうかの判断材料として活用いただくこととしています。

<最適配置案（効果）のイメージ>



<今後のスケジュール（予定）>

時 期		作 業 内 容 等
令和3年度	10月	最終報告（経営シュミレーション、統合効果）
	1月	覚書締結
令和6年度	4月～	事業開始（予定）

**II 府域一水道に向けた水道のあり方協議会への参画**

大阪府が設置した、大阪市を含む府内全ての水道事業体で構成する「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」に企業団も積極的に参画し、同協議会が令和2年3月に取りまとめた「府域一水道に向けた水道のあり方に関する検討報告書」に沿って、令和2年度は大阪府が策定する「水道基盤強化計画」についての準備や広域化に向けた取組など、様々な検討を行いました。

6 エンドユーザーの立場に立ち、お客さまサービスの向上に努めます

水道料金等におけるスマートフォン決済の導入



水道事業において、お客さまの利便性の向上及び新たな生活様式に対応するため、水道料金・下水道使用料の支払方法について、従来の銀行口座振替やコンビニエンスストア等での支払に加えて、令和3年4月からスマートフォン決済を導入しました。

専用アプリケーションをインストールしたスマートフォンなどのモバイル端末のカメラで、納入通知書のバーコードを読み取り、電子マネーで決済することにより、いつでもどこでも水道料金等の支払いができます。（一部ご利用いただけない区域もあります。）

企業団ウェブサイトのリニューアル



旧サイト



新サイト

より見やすいウェブサイトにするため、スマートフォンにも対応したデザインにリニューアルし、災害時には災害用のページに切り替えることができるようになりました。

また、ウェブサーバをクラウド型に変更したことで、災害時等のアクセス急増による閲覧障害を防ぎ、安定した情報発信が可能となりました。

## 7 社会的責務を果たし、信頼される企業団をめざします

### 《環境保全》

水道水をお届けするためには、浄水処理や送・配水の過程で電力を中心に多くのエネルギーを消費し、温室効果ガスや浄水発生土等の廃棄物を排出するなど、環境に負荷がかかります。そこで、エネルギー消費量の縮減や浄水発生土等の廃棄物の減量・有効利用など、環境負荷の低減を推進するため、様々な取組を行っています。

#### 温室効果ガス排出量の削減

電力使用量の推移

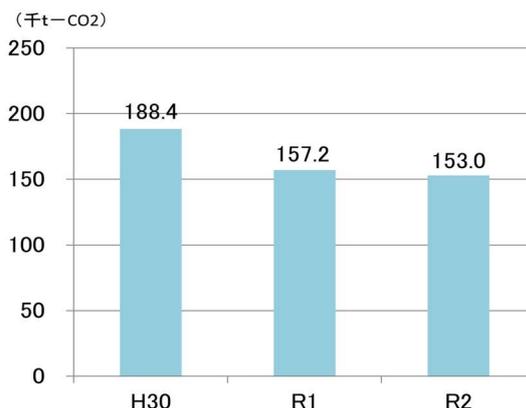
	H30	R1	R2
電力使用量 (百万kWh)	430.1	436.0	449.9
【うち商用電力使用量】	424.5	430.8	443.7

(参考) 排出係数の推移

CO <sub>2</sub> 排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千kWh)	H30	R1	R2
関西電力(株)	0.435	0.352	0.340
環境配慮型 電気事業者	0.410	0.424	0.431

○企業団では、商用電力として、関西電力(株)と泉佐野ポンプ場(H28～)においては環境配慮型の競争入札による電気事業者から供給を受けており、それぞれの事業者に適用される排出係数を用いてCO<sub>2</sub>排出量を算定しました。

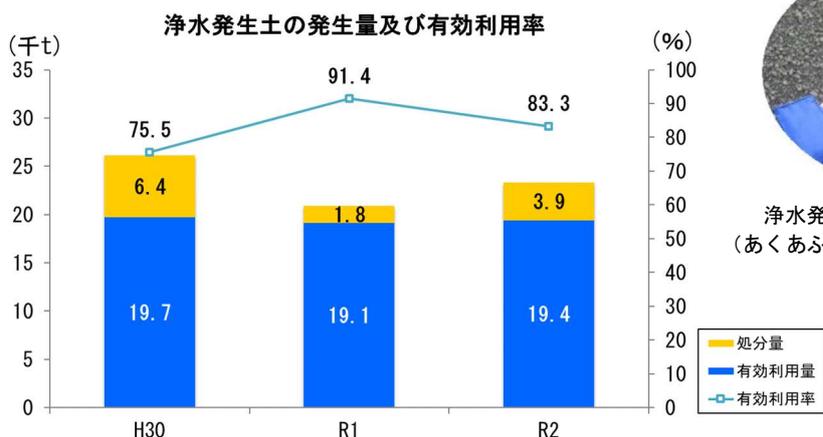
温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の推移



企業団では、温室効果ガス排出量について、経営戦略では平成30年度を基準に、前年度比1%ずつ削減することを目標とし、泉佐野ポンプ場における環境配慮型の電力調達などに取り組んでいます。

令和2年度の温室効果ガス排出量は約15万3千(t-CO<sub>2</sub>)となり、前年度と比べ総排出量を約3%削減し、目標を達成しました。

#### 浄水発生土の有効利用



浄水発生土  
(あくあふれん土)



浄水処理の過程で発生する浄水発生土(水中の無機物等を集めて土状にしたもの)は、有効利用しなければ産業廃棄物として埋立処分をすることになります。企業団では、環境対策の一環として、浄水発生土を乾燥させ、園芸用土やグラウンド資材としての販売や公共団体への譲渡を進めるなど、浄水発生土の有効利用に努めており、年間の有効利用率を75%以上とすることを目標にしています。

令和2年度の有効利用量は1万9千t、有効利用率は約83%となり、目標を達成しました。

小水力発電



郡家ポンプ場 受水発電設備

村野浄水場 発電機仕様	
型 式	三相誘導発電機
電 圧	6.6kV
最大出力	200kW
同期速度	600rpm

郡家ポンプ場 発電機仕様	
型 式	三相誘導発電機
電 圧	6.6kV
最大出力	320kW
同期速度	900rpm

企業団では、エネルギー消費削減のため、郡家ポンプ場及び村野浄水場（階層系）に小水力発電設備を導入しています。

これらの小水力発電設備による令和2年度の年間発電量は 316 万 kWh（630 世帯相当分）で、発電した電力は浄水場の運用電力の一部として使用しています。

《国際貢献》

技術交流



企業団では旧大阪府水道部の時代から、独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じタイ王国首都圏水道公社（MWA : Metropolitan Waterworks Authority）に対する技術協力を行ってきました。平成24年11月には、企業団とMWAとの間で「タイ王国 首都圏水道公社（MWA）と日本国 大阪広域水道企業団（OWSA）との技術交流プログラムに関する覚書」を締結し、技術交流を行っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により技術交流は実施できませんでしたが、今後も海外の水道事業情勢の把握に努め、研修生の受入れ等による海外の水道事業者への技術協力を行っていきます。

あんしん水道ゲーム



持続可能な水道事業のための  
『あんしん水道ゲーム』  
遊び方  
大阪広域水道企業団

水道水はどんどころに使われているかな？

■ 5種類のカードがある

- ① 基本カード
- ② アクションカード (付録)
- ③ イベントカード
- ④ 水道料金カード
- ⑤ アクションカード

お水は、お風呂やトイレ、洗濯機やトイレ、お風呂、お洗濯、お掃除、お料理の生かすお水です。お水は、お風呂やトイレ、お洗濯機やトイレ、お風呂、お洗濯、お掃除、お料理の生かすお水です。お水は、お風呂やトイレ、お洗濯機やトイレ、お風呂、お洗濯、お掃除、お料理の生かすお水です。

カードの種類

■ 5種類のカードがある

- ① 基本カード
- ② アクションカード (付録)
- ③ イベントカード
- ④ 水道料金カード
- ⑤ アクションカード

水需要の減少に伴う料金収入の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、企業団を含む水道事業体が抱える課題について分かりやすく伝え、持続可能な水道事業について楽しく考えてもらえるツールとして、水道事業の経営を体験できる「あんしん水道ゲーム」(カードゲーム)を開発しました。

現在は、就職説明会やインターンシップ等で実施し、本ゲームを通じて水道事業に対する理解や興味を深めてもらうための、人材確保のツールとしても活用しています。

今後は、基本ルールを応用し、対象者に合わせて「水道すごろく」や「水道ボードゲーム」などとして展開し、イベントや授業等活用を広げていく予定です。

ドローンの導入 (庭窪浄水場)



庭窪浄水場では、沖出し取水口の状況を迅速に確認するため、ドローンを導入しました。これまではITVカメラやゴムボート等を用いて確認を行っていましたが、ドローンを使用することで、取水口付近の状況をより詳細に確認できるようになりました。

V P P（バーチャルパワープラント：仮想発電所）事業への参画

庭窪浄水場と松原ポンプ場において、水道事業体としては先進的な取組である V P P 事業に令和3年度から参画するため、令和2年度に導入検討及びアグリゲーターとの契約締結を行いました。今後もV P P事業への参画を継続し、環境保全の取組を推進していきます。

○V P Pとは

電力の需要家側の電気使用量の増減、太陽光発電設備及び蓄電池等の分散するエネルギーリソースを束ねてあたかも一つの発電所のように機能させるものです。

○V P P事業とは

電力の安定供給や再生可能エネルギーの促進につながる取組です。

V P P事業者はアグリゲーターと呼ばれ、V P Pを用いて電力の需給バランスの調整を行う事業者（一般送配電事業者）に調整力を提供します。

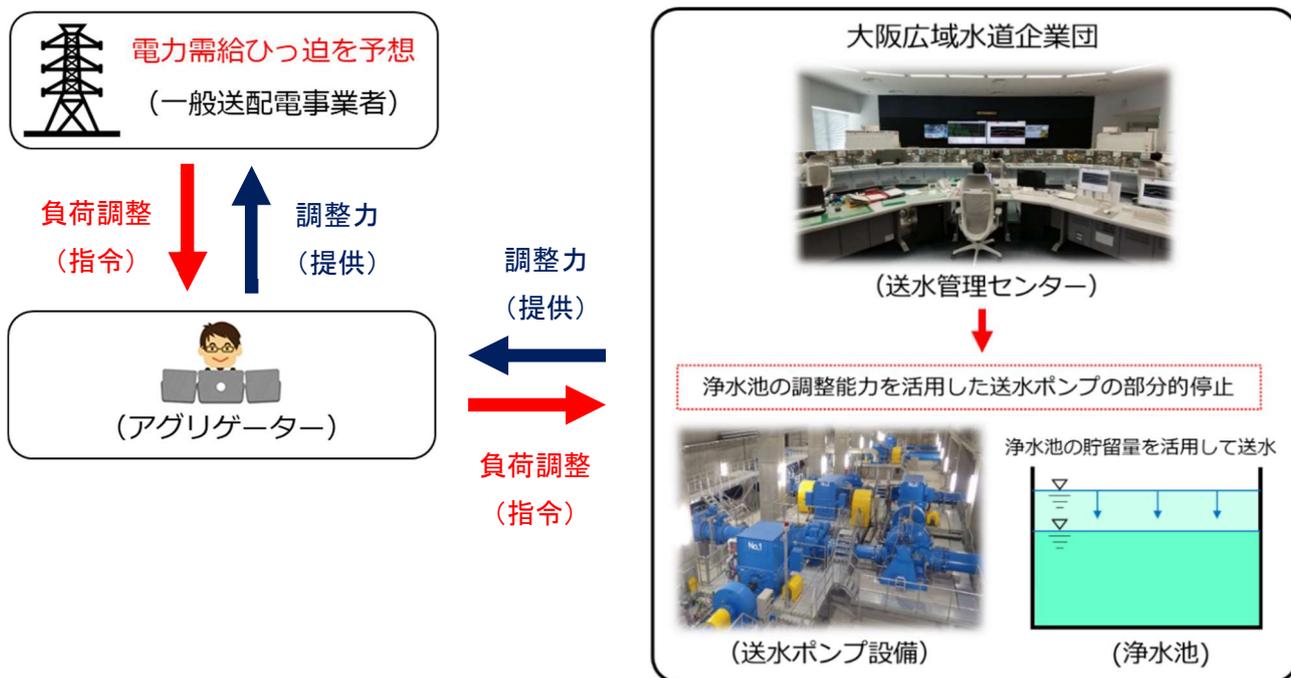
○V P P事業への参画

アグリゲーターからの負荷調整の指令に基づき、浄水池の調整能力（貯留量）を活用し、送水ポンプ設備を部分的に停止させることで調整力を提供します。

○期待される効果

V P P事業に参画することで、以下の効果が期待できます。

- ・再生可能エネルギーの導入拡大への貢献
- ・電力の安定供給への貢献
- ・収入の増加



V P P事業のイメージ

## 財務編

### 1 財政収支

#### 《水道用水供給事業》

給水収益は、有収水量が増加した一方、新型コロナウイルス感染症による影響を勘案した料金軽減を17億円実施（軽減期間4か月間、軽減額10円/m<sup>3</sup>（72円/m<sup>3</sup>→62円/m<sup>3</sup>））したことにより、前年度に比べ11億円減少しました。

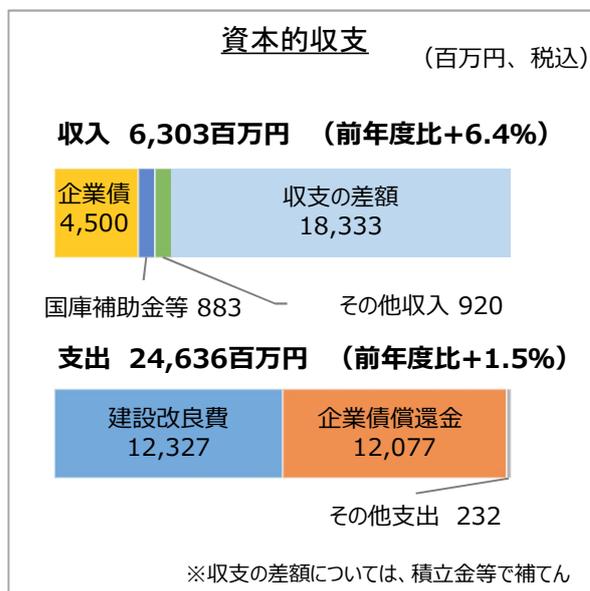
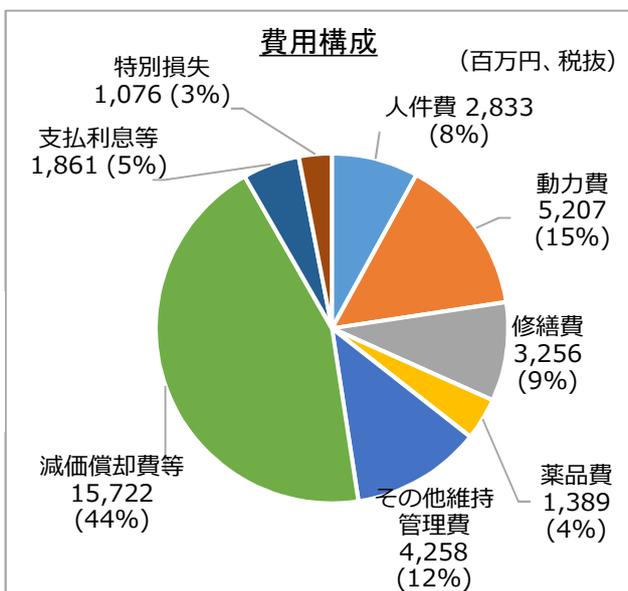
特別利益及び特別損失は、活性炭の入札談合に関する損害賠償請求に係る特別利益及び貸倒引当金繰入額の計上額です。

特別損失を除く費用は、ほぼ前年度並みとなり、これらの結果、単年度損益は前年度に比べ14億円減少し、39億円となりました。

#### 収益的収支

(百万円、%、税抜)

	R1 (①)	R2 (②)	増減 (②-①)	増減率 (②/①)
<b>収益</b>	39,401	39,537	136	100.3
給水収益	36,645	35,575	△ 1,070	97.1
長期前受金戻入	2,176	2,442	266	112.2
その他収入	551	444	△ 107	80.6
特別利益	29	1,076	1,047	3,710.3
<b>費用</b>	34,057	35,602	1,545	104.5
維持管理費	16,798	16,943	145	100.9
減価償却費等	15,103	15,722	619	104.1
支払利息等	2,106	1,861	△ 245	88.4
特別損失	50	1,076	1,026	2,152.0
<b>単年度損益</b>	5,344	3,935	△ 1,409	73.6



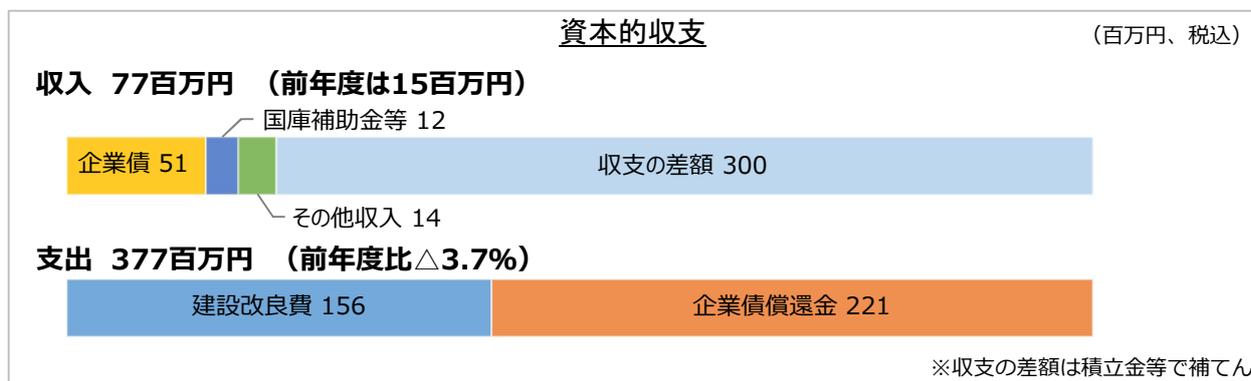
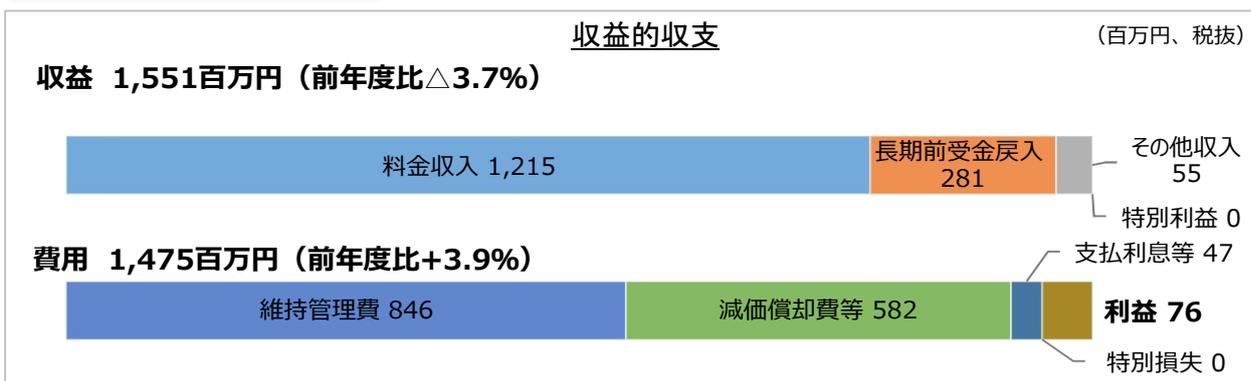
《水道事業》

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、各市町村からの繰入金等を活用し、全ての事業で水道料金の減免を実施しました。

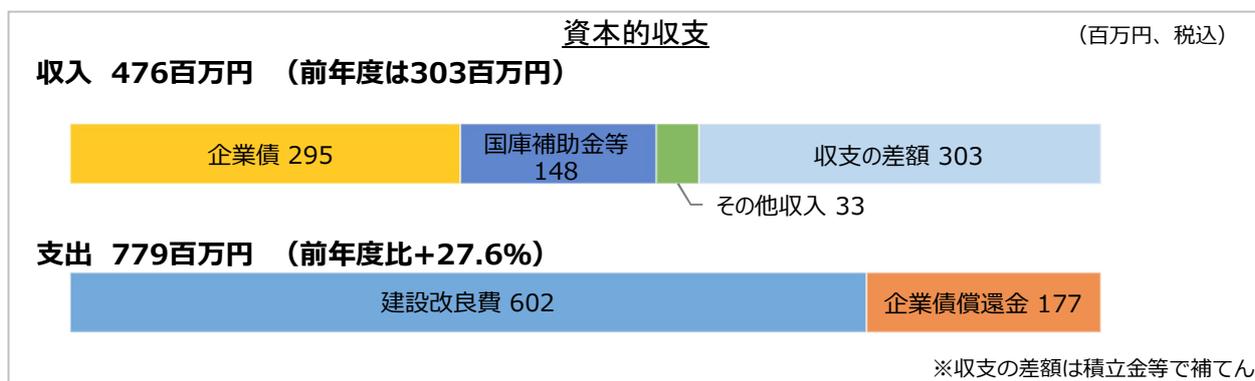
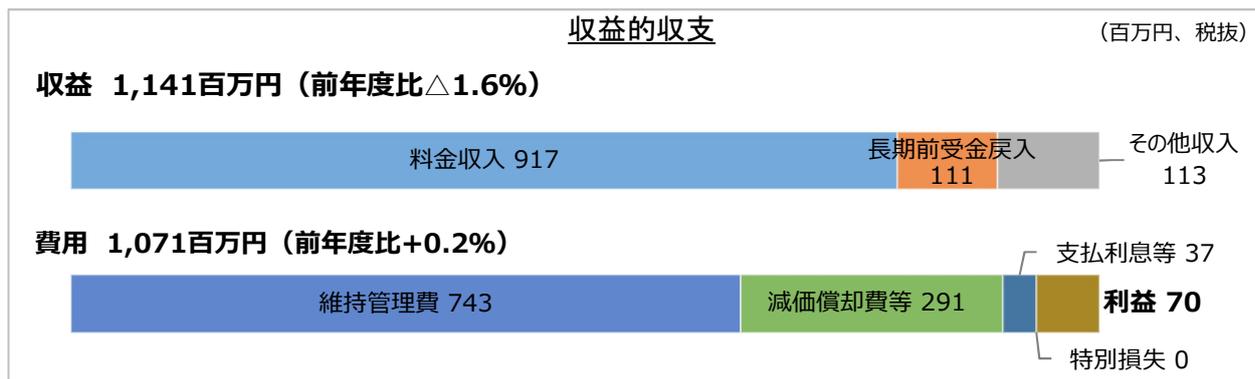
費用は、固定資産除却費の計上などにより増加した事業もありましたが、結果として、全事業において単年度利益を計上しました。

※数値を「0」で示すものは百万円未満のもの

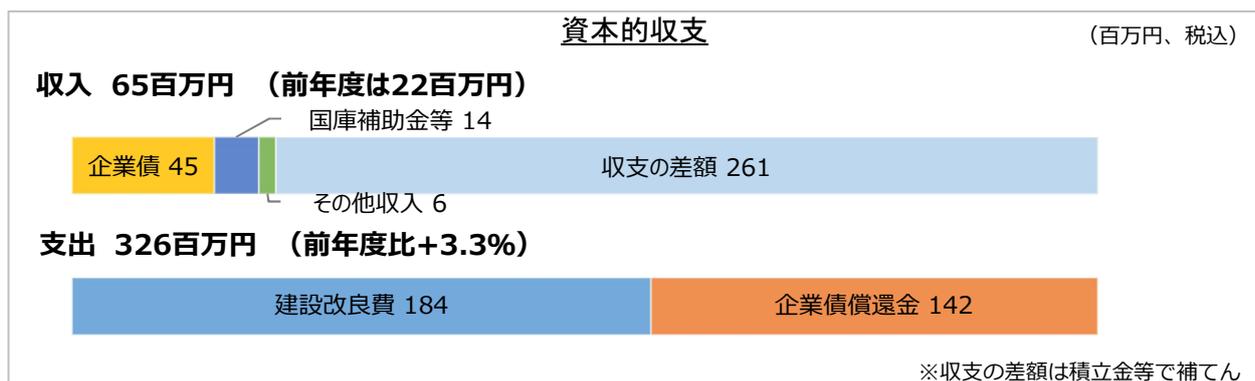
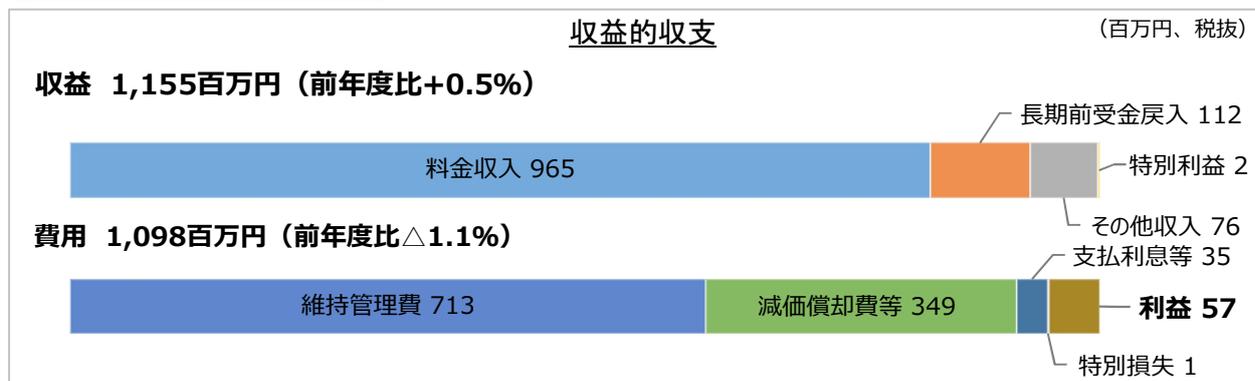
泉南水道事業



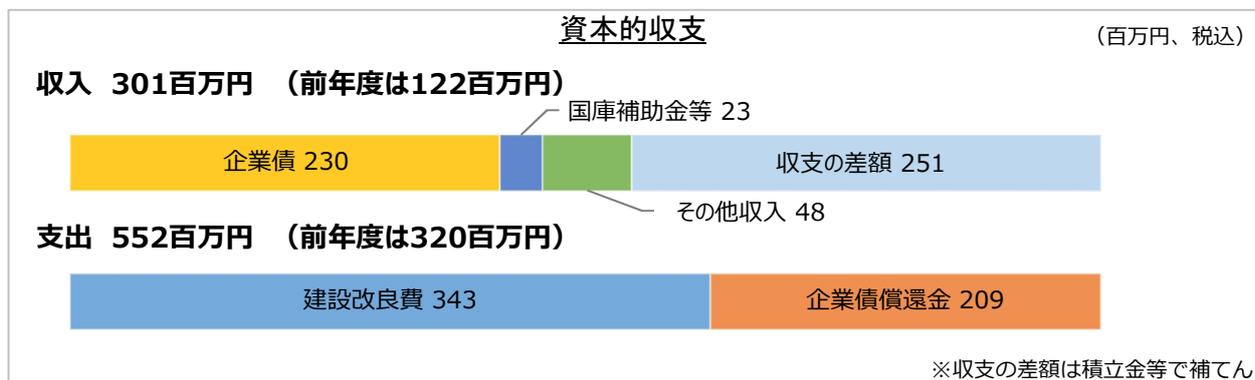
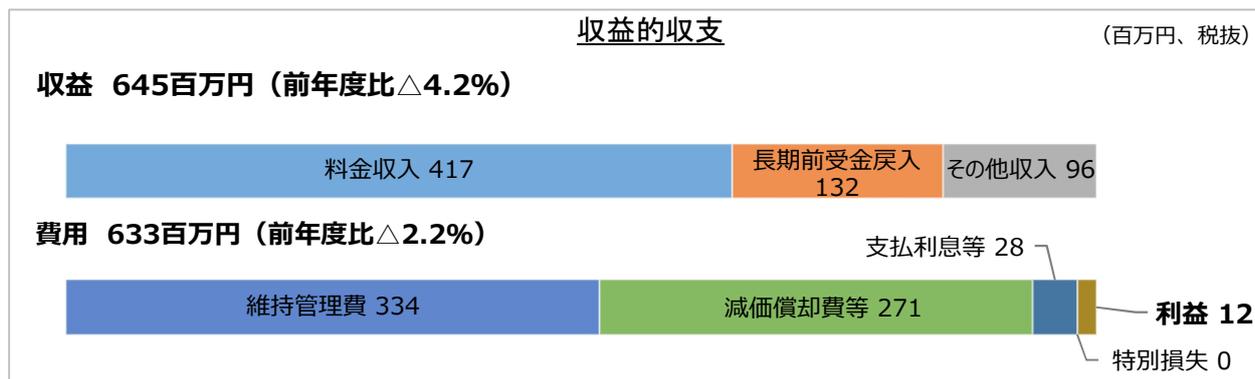
四條躰水道事業



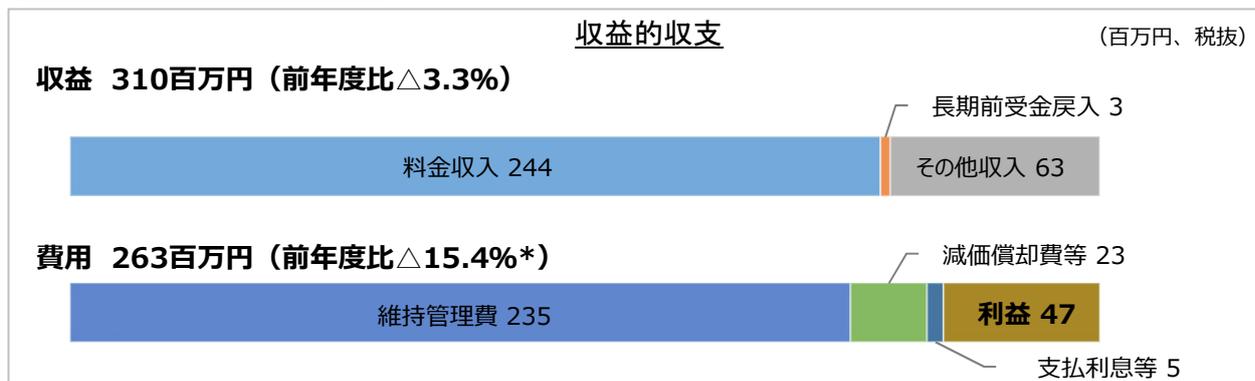
阪南水道事業



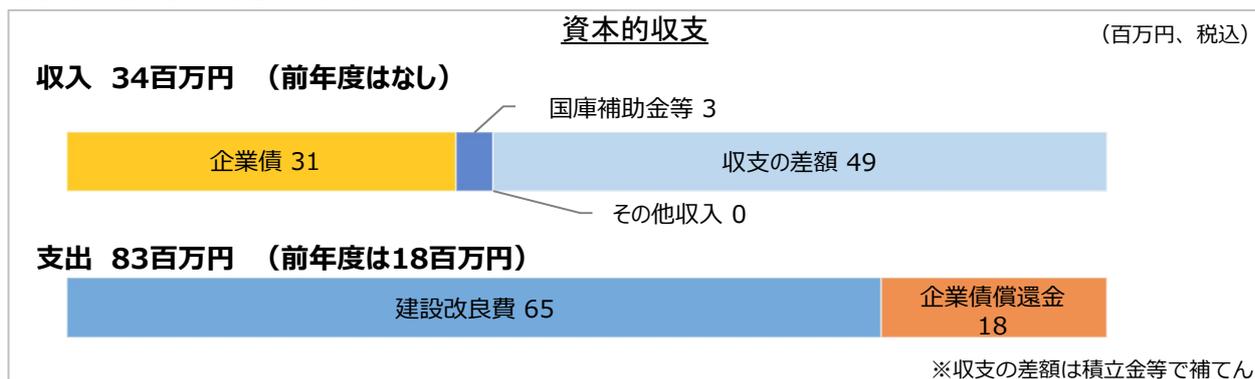
豊能水道事業



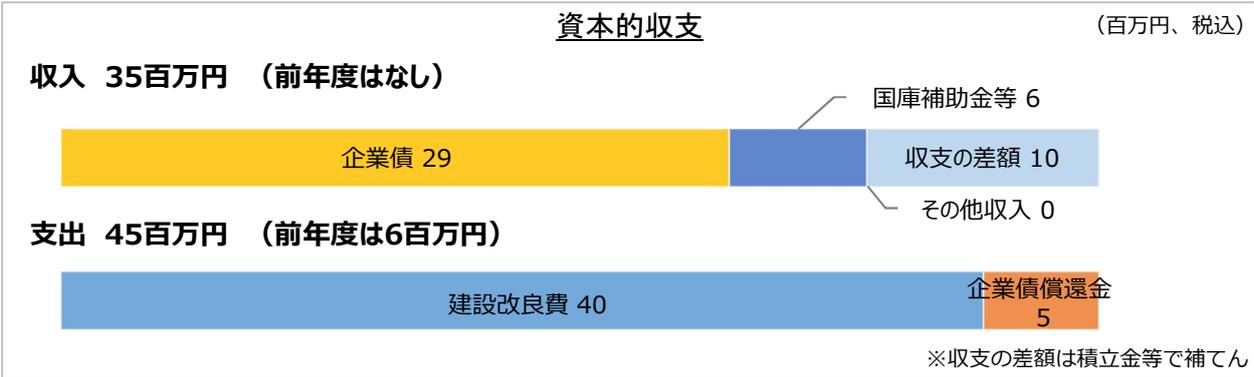
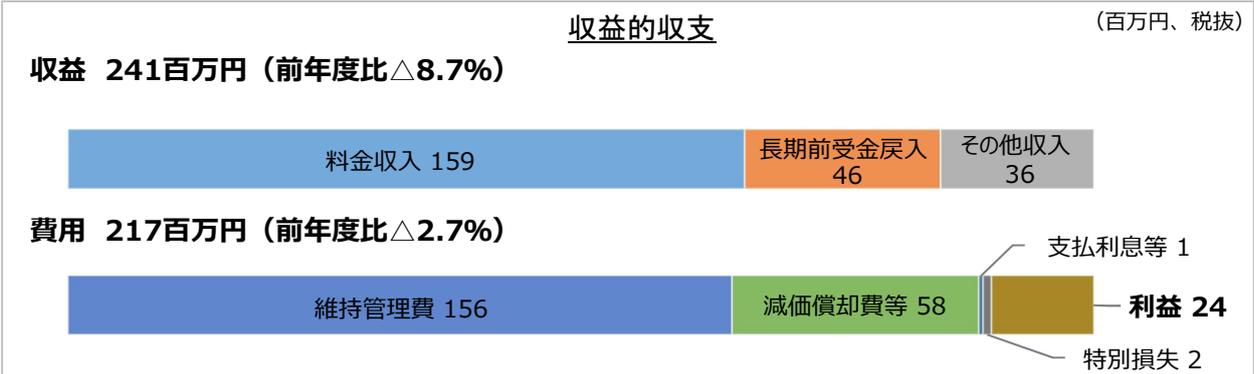
忠岡水道事業



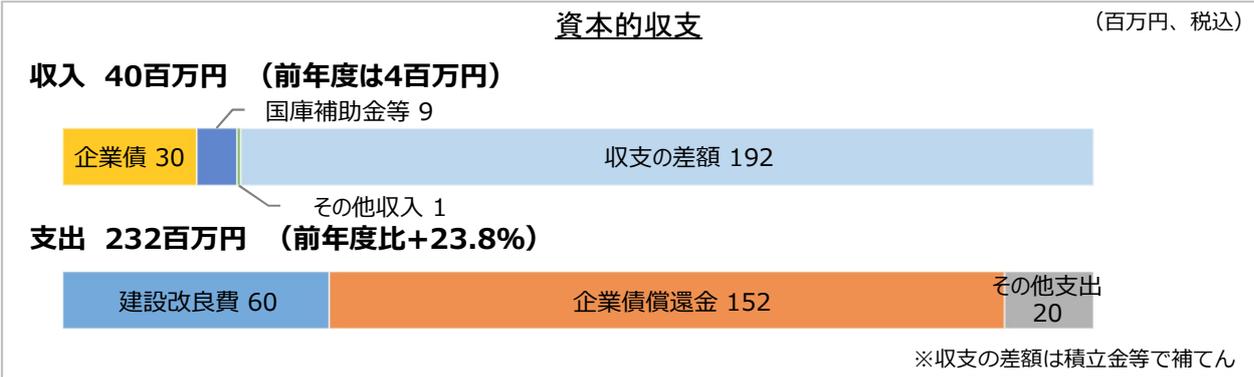
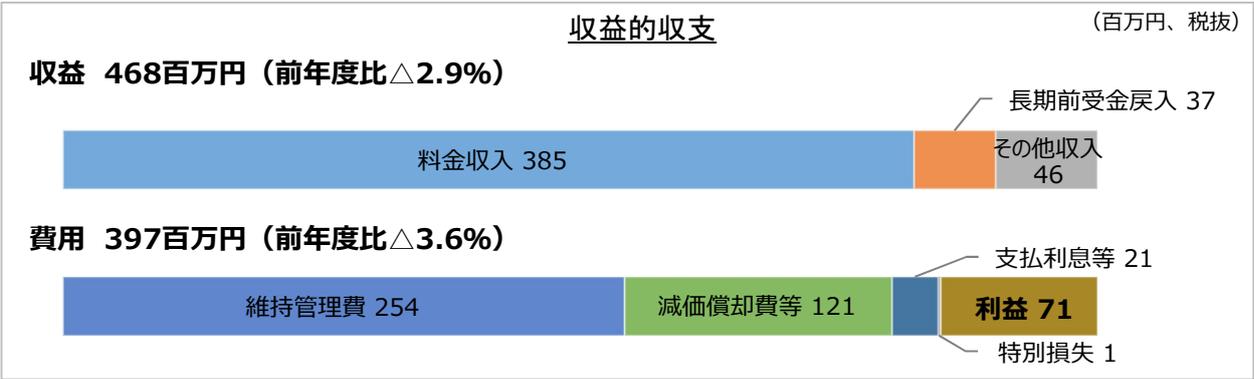
(\*前年度、期間損益適正化のため受水費(維持管理費)の計上期間を見直したため、13か月分を計上したことにより費用が一時的に多くなっていたこと等のため。)



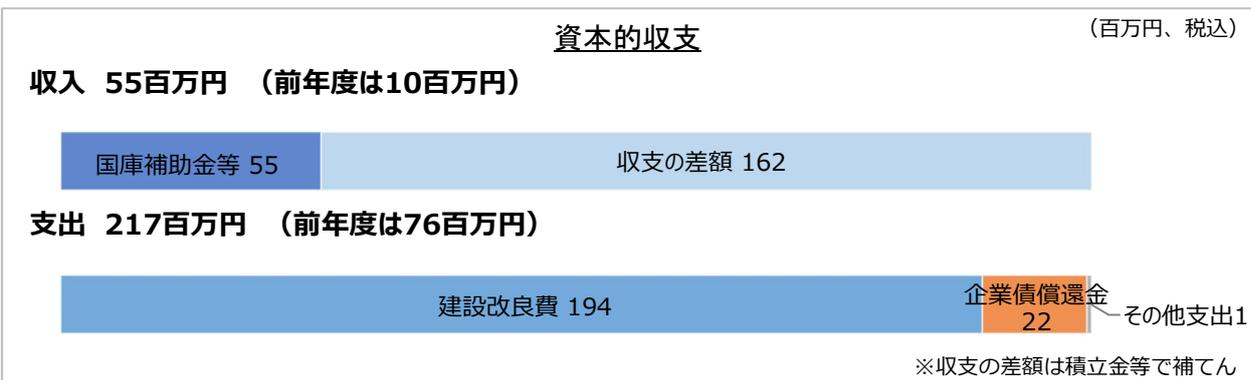
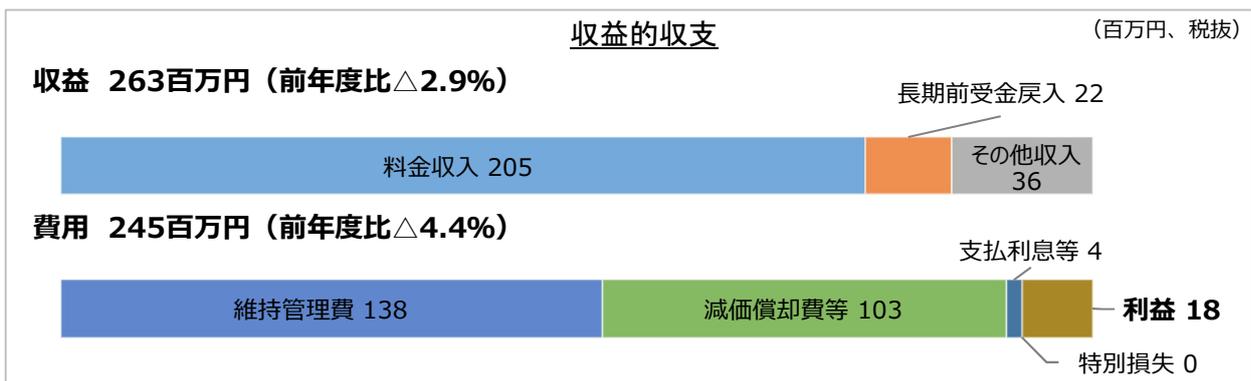
田尻水道事業



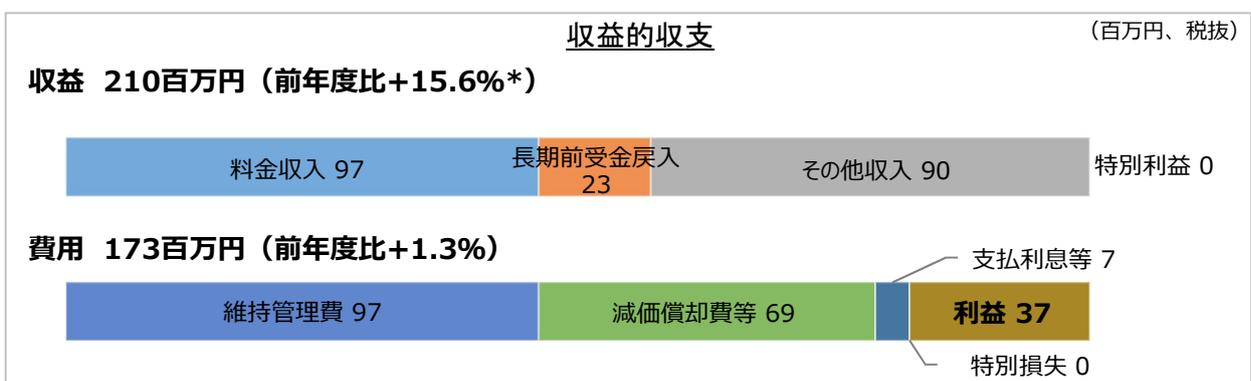
岬水道事業



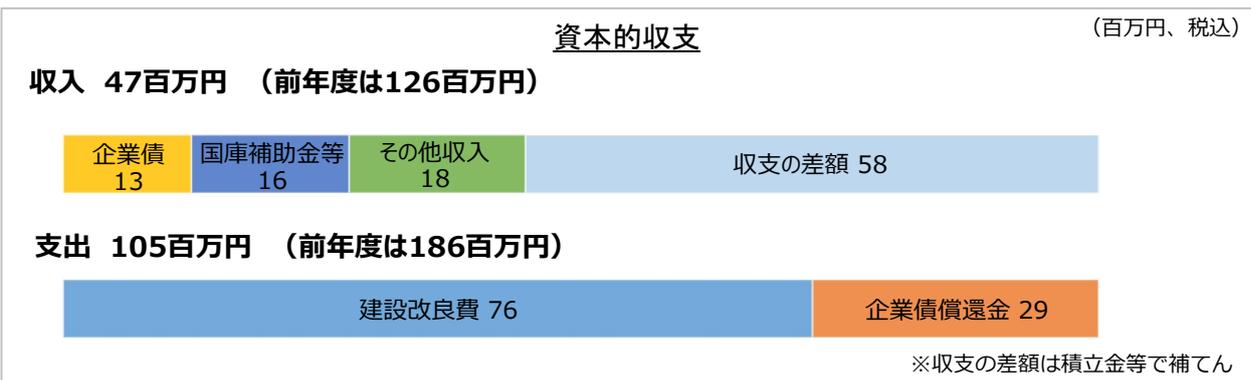
太子水道事業



千早赤阪水道事業



(\*村からの一般会計繰入金の受入について、額に変動はないが収益的収入と資本的収入の割合を見直したため。)



財務編

(参考)

(括弧内は前年度比)

	給水人口 (人)	年間総給水量 (千㎡)	有収水量 (千㎡)	有収率 (%)	自己水の割合 (%)
泉南水道事業	60,452 (▲ 1.1%)	7,517 (+ 4.5%)	6,753 (+ 1.4%)	89.8 (▲ 2.8%)	0
四條畷水道事業	55,352 (▲ 0.5%)	5,949 (+ 0.9%)	5,658 (+ 1.3%)	95.1 (+ 0.4%)	1.1
阪南水道事業	52,763 (▲ 1.5%)	5,885 (+ 0.8%)	5,499 (▲ 0.2%)	93.4 (▲ 0.9%)	0
豊能水道事業	18,967 (▲ 1.3%)	1,897 (▲ 1.8%)	1,757 (+ 2.4%)	92.6 (+ 3.8%)	19.8
忠岡水道事業	16,881 (▲ 1.0%)	2,052 (▲ 5.1%)	1,846 (▲ 0.2%)	90.0 (+ 4.4%)	0
田尻水道事業	8,578 (▲ 2.0%)	1,063 (▲ 3.8%)	982 (▲ 2.4%)	92.3 (+ 1.2%)	0
岬水道事業	15,167 (▲ 2.2%)	2,196 (▲ 2.1%)	1,712 (▲ 1.0%)	78.0 (+ 0.9%)	30.7
太子水道事業	13,162 (▲ 0.8%)	1,387 (+ 2.4%)	1,303 (+ 2.5%)	94.0 (+ 0.1%)	67.2
千早赤阪水道事業	5,040 (▲ 1.5%)	669 (+ 4.3%)	549 (+ 1.8%)	82.1 (▲ 2.0%)	73.5
市町村域水道事業計	246,362	28,615	26,059	—	—

《工業用水道事業》

収益のうち給水収益は、令和3年1月からの料金改定や、水量の減により前年度より2億円減少しました。

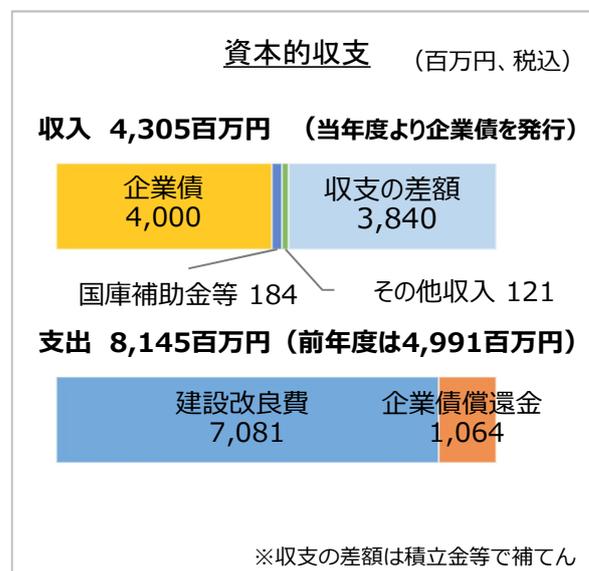
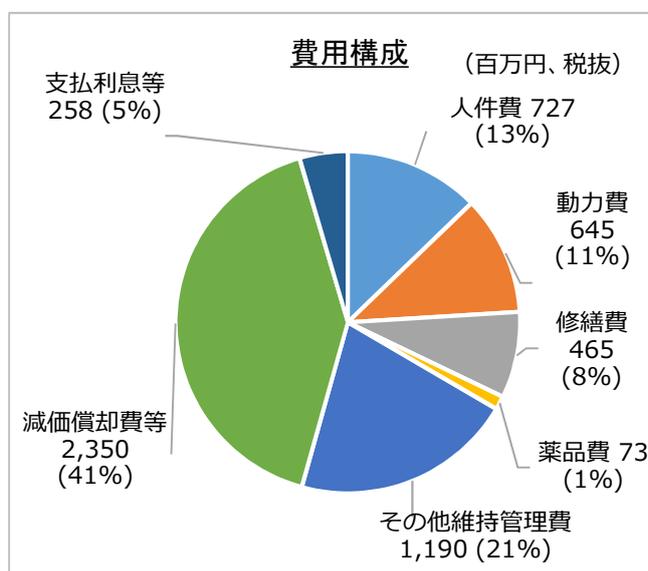
一方、費用も、減価償却費や維持管理費が減少したことなどにより、前年度より3億円減少しました。

これらの結果、単年度利益は、前年度より2億円増加し、18億円となりました。

収益的収支

(百万円、%、税抜)

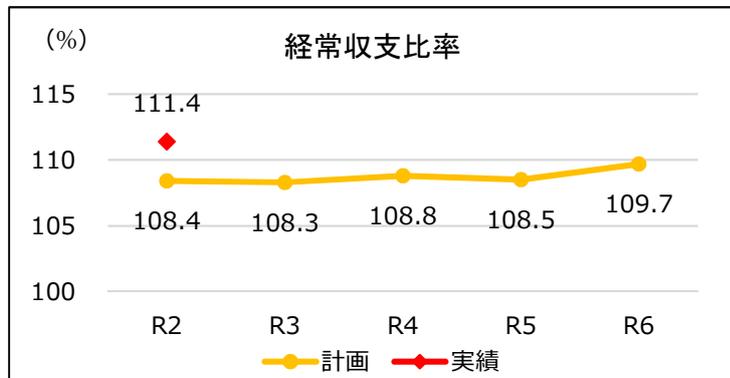
	R1 (①)	R2 (②)	増減 (②-①)	増減率 (②/①)
<b>収益</b>	7,725	7,557	△ 168	97.8
給水収益	6,704	6,546	△ 158	97.6
長期前受金戻入	641	558	△ 83	87.1
その他収入	358	313	△ 45	87.4
特別利益	22	140	118	636.4
<b>費用</b>	6,053	5,708	△ 345	94.3
維持管理費	3,216	3,100	△ 116	96.4
減価償却費等	2,542	2,350	△ 192	92.4
支払利息等	281	258	△ 23	91.8
特別損失	14	-	皆減	皆減
<b>単年度損益</b>	1,672	1,849	177	110.6



2 経営評価

主な経営指標について、令和2年度の計画値の達成状況は次のとおりです。

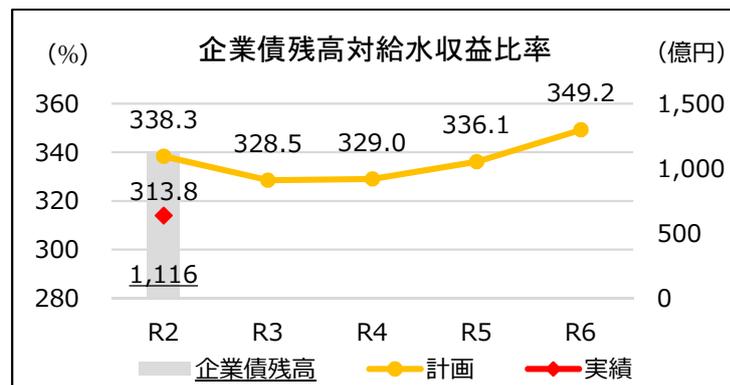
《水道用水供給事業》



達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

- 算出式  

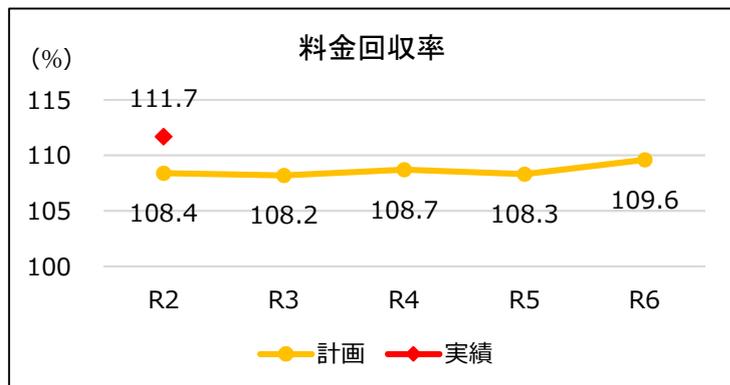
$$\text{経常収益} / \text{経常費用} \times 100$$
- 意味・考え方  
 給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。100%以上となっていることが必要。
- 分析  
 主に維持管理費が減少したことにより計画値を上回り、健全経営を維持しています。  
 【参考:令和元年度用水供給事業平均値 112.9%】



達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

- 算出式  

$$\text{企業債現在高合計} / \text{給水収益} \times 100$$
- 意味・考え方  
 給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているか分析することが必要。
- 分析  
 企業債の発行を抑制したことにより指標は計画値を下回っており、企業債残高の規模に大きな問題はないものと判断しています。  
 【参考:令和元年度用水供給事業平均値 273.0%】



達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

- 算出式  

$$\text{供給単価} / \text{給水原価} \times 100$$
- 意味・考え方  
 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標。
- 分析  
 主に維持管理費が減少したことにより計画値を上回り、給水に係る費用が給水収益で賄えている状態です。  
 【参考:令和元年度用水供給事業平均値 112.8%】

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

《水道事業》

	経常収支比率 (%)	企業債残高対給水収益比率 (%)	料金回収率 (%)
泉南	<p>108.0 107.7 106.3 104.5 106.3 105.2 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：△〉</p>	<p>208.7 214.4 220.5 216.8 201.4 204.5 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：△〉</p>	<p>106.6 106.0 104.4 102.3 103.7 102.1 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：△〉</p>
	<p>106.5 104.2 103.9 103.1 101.1 106.5 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：○〉</p>	<p>285.4 279.9 280.8 288.1 292.2 260.1 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：○〉</p>	<p>97.5 95.1 94.6 93.8 91.5 96.0 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：△〉</p>
阪南	<p>105.1 112.8 110.2 103.9 103.6 102.9 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：○〉</p>	<p>238.6 234.1 264.0 247.2 267.5 237.3 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：○〉</p>	<p>97.9 107.7 104.9 97.9 97.5 96.8 R2 R3 R4 R5 R6 ● 計画 ● 実績</p> <p>〈R2 計画達成状況：○〉</p>

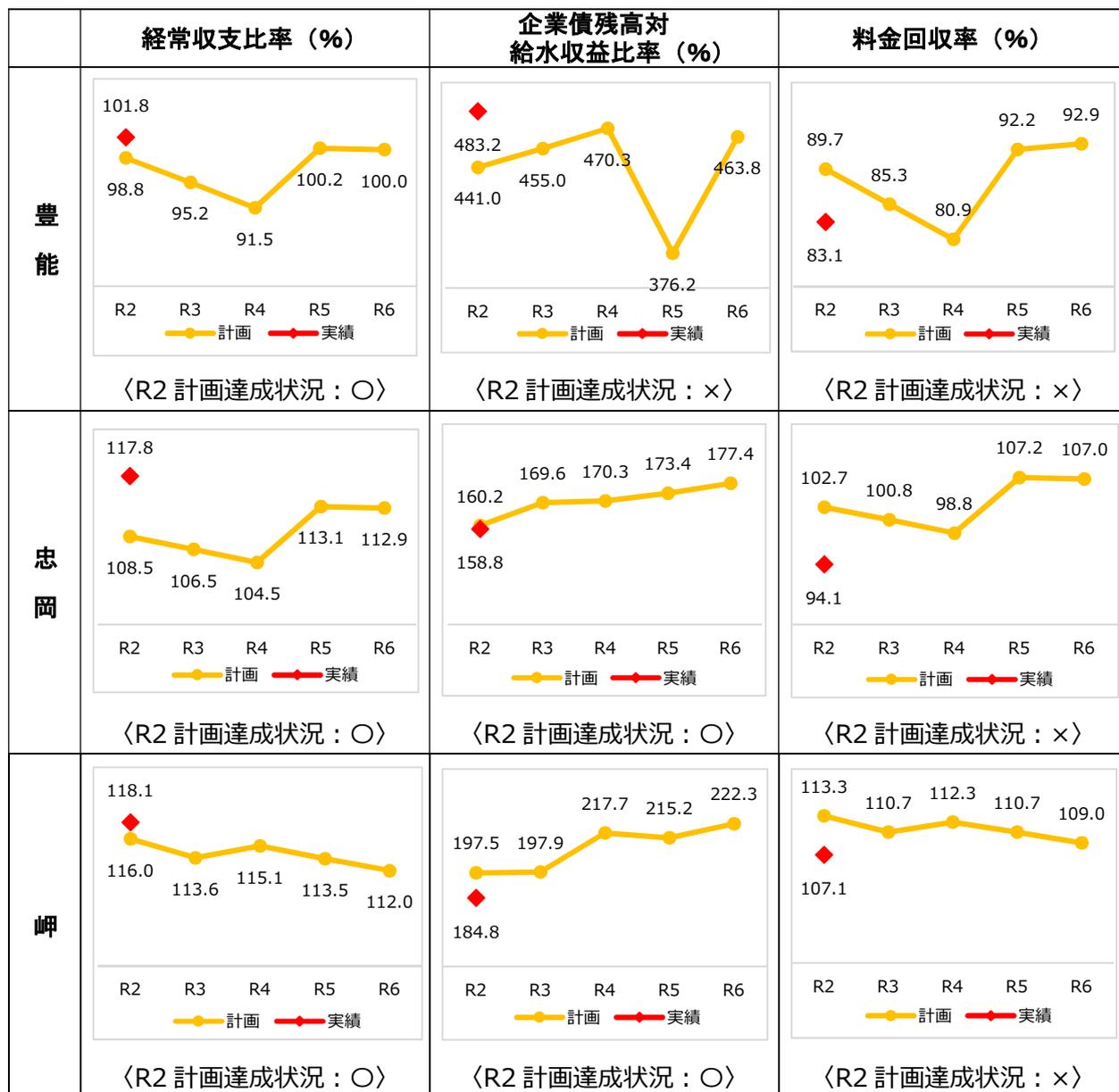
○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

【参考】令和元年度類似団体平均値

類似団体区分 (※)	経常収支比率	企業債残高対 給水収益比率	料金回収率
A4	117.2	309.3	103.3

(※) 総務省公表「令和元年度決算経営比較分析表」における給水人口に基づく類似団体区分

A4：5万人以上10万人未満、A6：1.5万人以上3万人未満、A7：1万人以上1.5万人未満、A8：5千人以上1万人未満



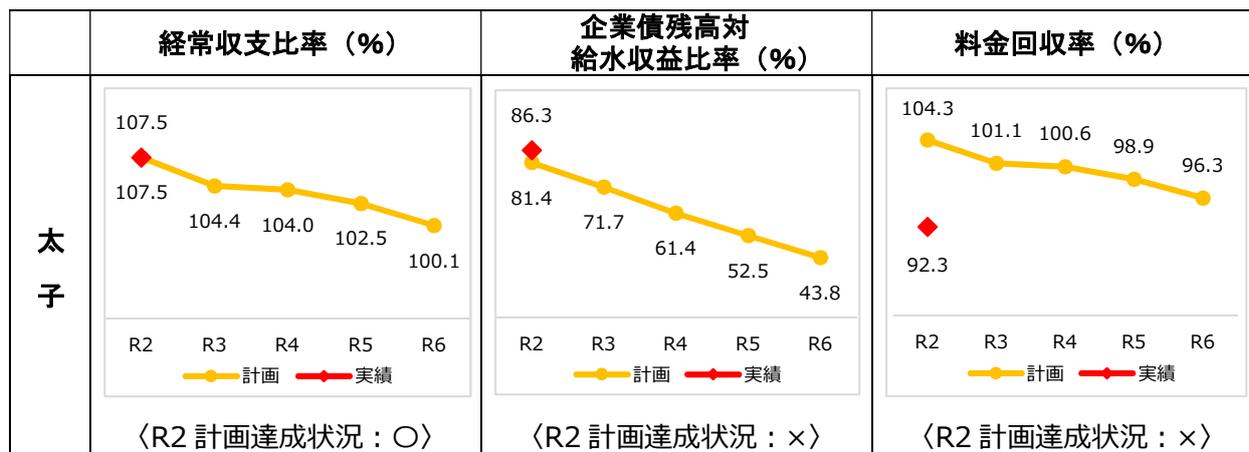
○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

【参考】令和元年度類似団体平均値

類似団体区分 (※)	経常収支比率	企業債残高対 給水収益比率	料金回収率
A6	108.6	399.0	98.6

(※) 総務省公表「令和元年度決算経営比較分析表」における給水人口に基づく類似団体区分

A4：5万人以上10万人未満、A6：1.5万人以上3万人未満、A7：1万人以上1.5万人未満、A8：5千人以上1万人未満



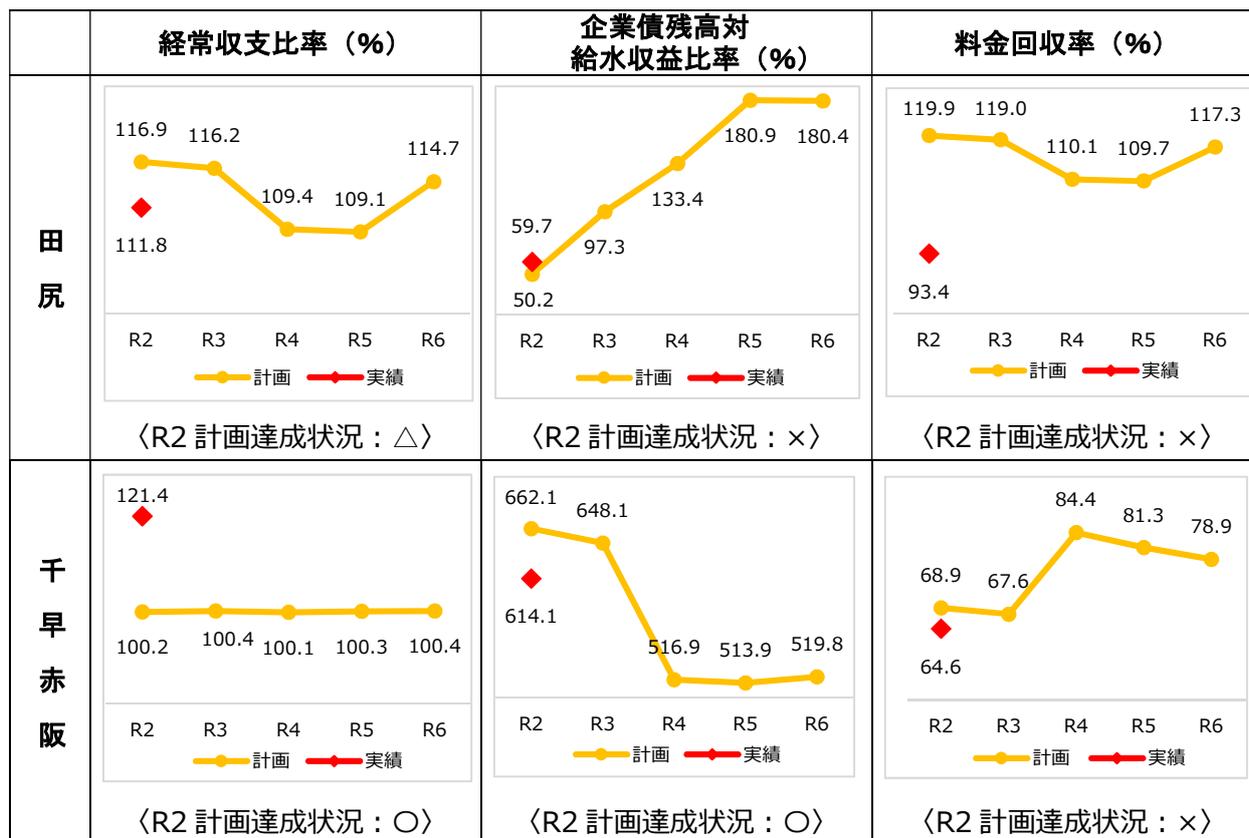
○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

【参考】令和元年度類似団体平均値

類似団体区分 (※)	経常収支比率	企業債残高対 給水収益比率	料金回収率
A7	108.5	439.1	95.3

(※) 総務省公表「令和元年度決算経営比較分析表」における給水人口に基づく類似団体区分

A4：5万人以上10万人未満、A6：1.5万人以上3万人未満、A7：1万人以上1.5万人未満、A8：5千人以上1万人未満



○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成

【参考】令和元年度類似団体平均値

類似団体区分 (※)	経常収支比率	企業債残高対 給水収益比率	料金回収率
A8	104.4	551.6	87.1

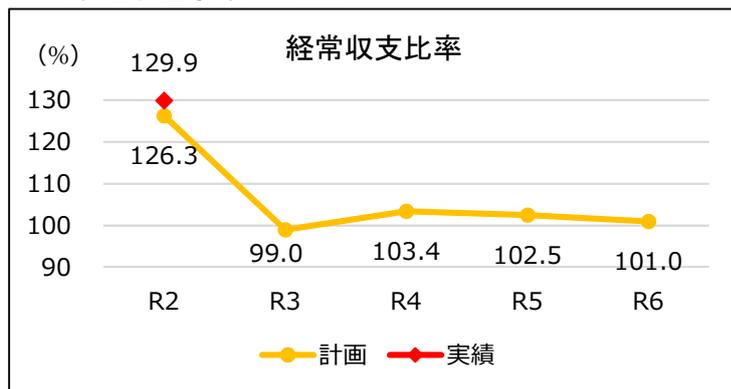
(※) 総務省公表「令和元年度決算経営比較分析表」における給水人口に基づく類似団体区分

A4：5万人以上10万人未満、A6：1.5万人以上3万人未満、A7：1万人以上1.5万人未満、A8：5千人以上1万人未満

■分析

新型コロナウイルス感染症の影響を勘案した水道料金の減免を行ったため、給水収益が減少したことなどにより、企業債残高対給水収益比率について、豊能、田尻及び太子水道事業が計画を達成できませんでした。また、料金回収率については、ほとんどの事業が計画を達成できませんでした。料金減免の財源には、各市町村からの繰入金等を活用していることから、今後の経営に大きな影響はありません。

《工業用水道事業》（※）

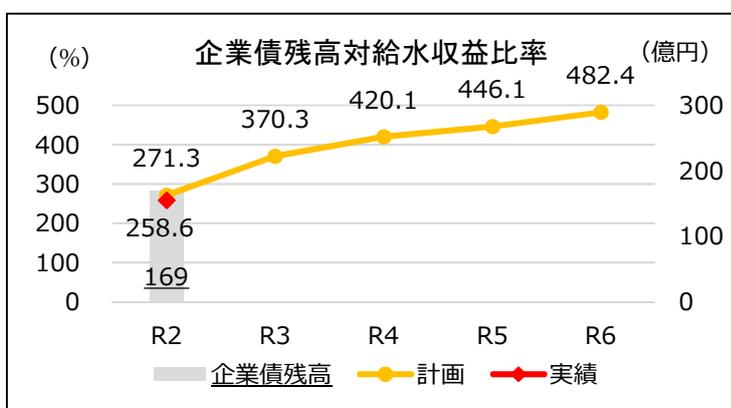


達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

■算出式  
 $\text{経常収益} / \text{経常費用} \times 100$

■意味・考え方  
 給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。100%以上となっていることが必要。

■分析  
 主に維持管理費が減少したことにより計画値を上回り、健全経営を維持しています。  
 【参考:令和元年度類似団体平均値 119.9%】

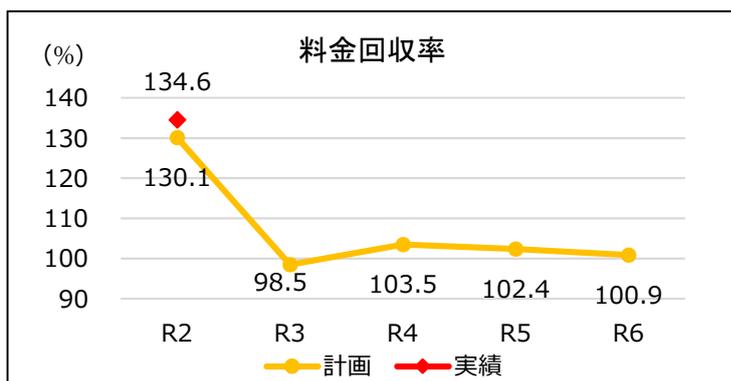


達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

■算出式  
 $\text{企業債現在高合計} / \text{給水収益} \times 100$

■意味・考え方  
 給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているか分析することが必要。

■分析  
 企業債の発行を抑制したことにより、指標は計画値を下回りました。企業債残高は前年度（140億円）より増加しましたが、企業債残高の規模に問題はないものと判断しています。  
 【参考:令和元年度類似団体平均値 227.5%】



達成状況	R2	R3	R4	R5	R6
	○	-	-	-	-

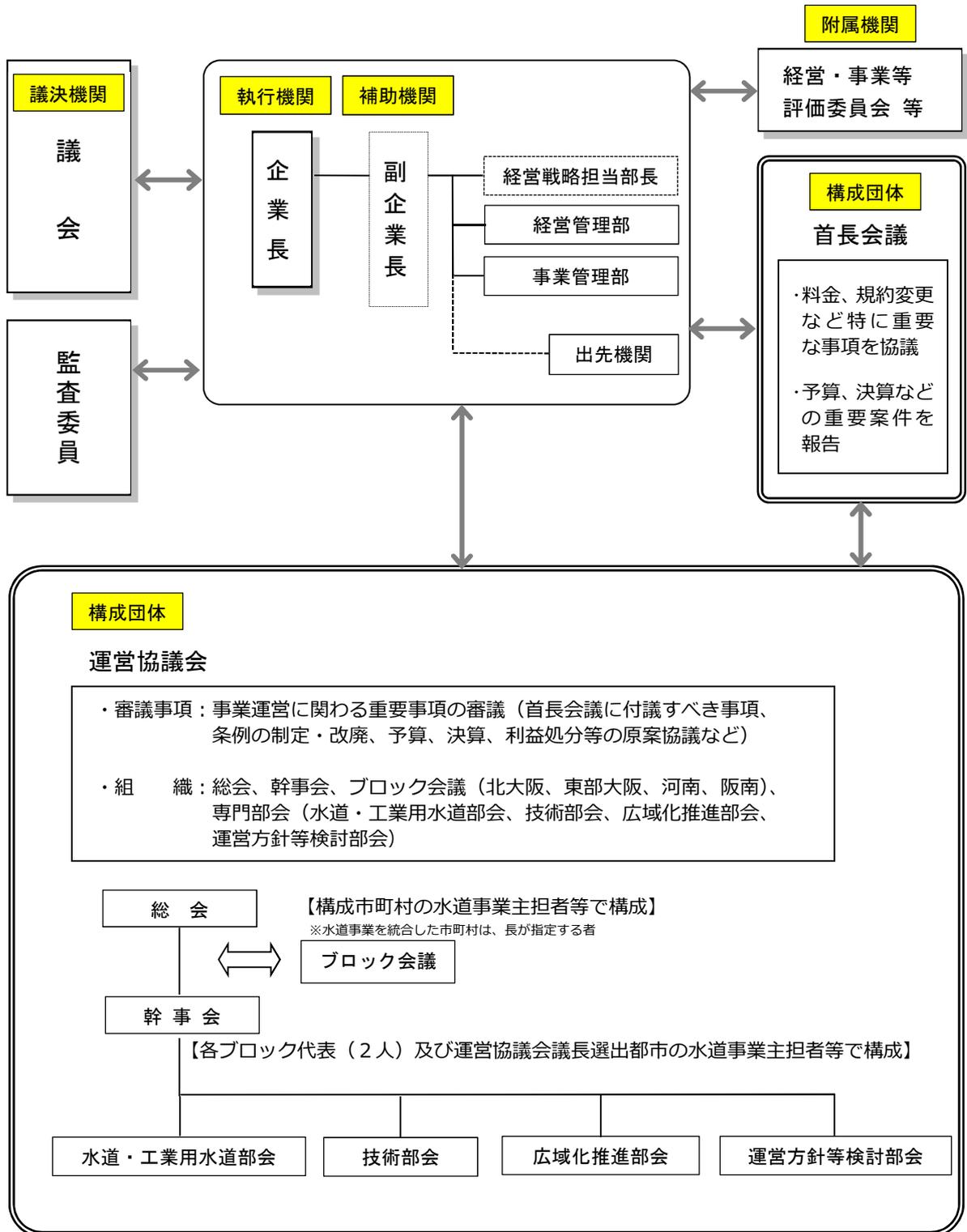
■算出式  
 $\text{供給単価} / \text{給水原価} \times 100$

■意味・考え方  
 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標。

■分析  
 主に維持管理費が減少したことにより計画値を上回り、給水に係る費用が給水収益で賄えている状態です。  
 【参考:令和元年度類似団体平均値 117.7%】

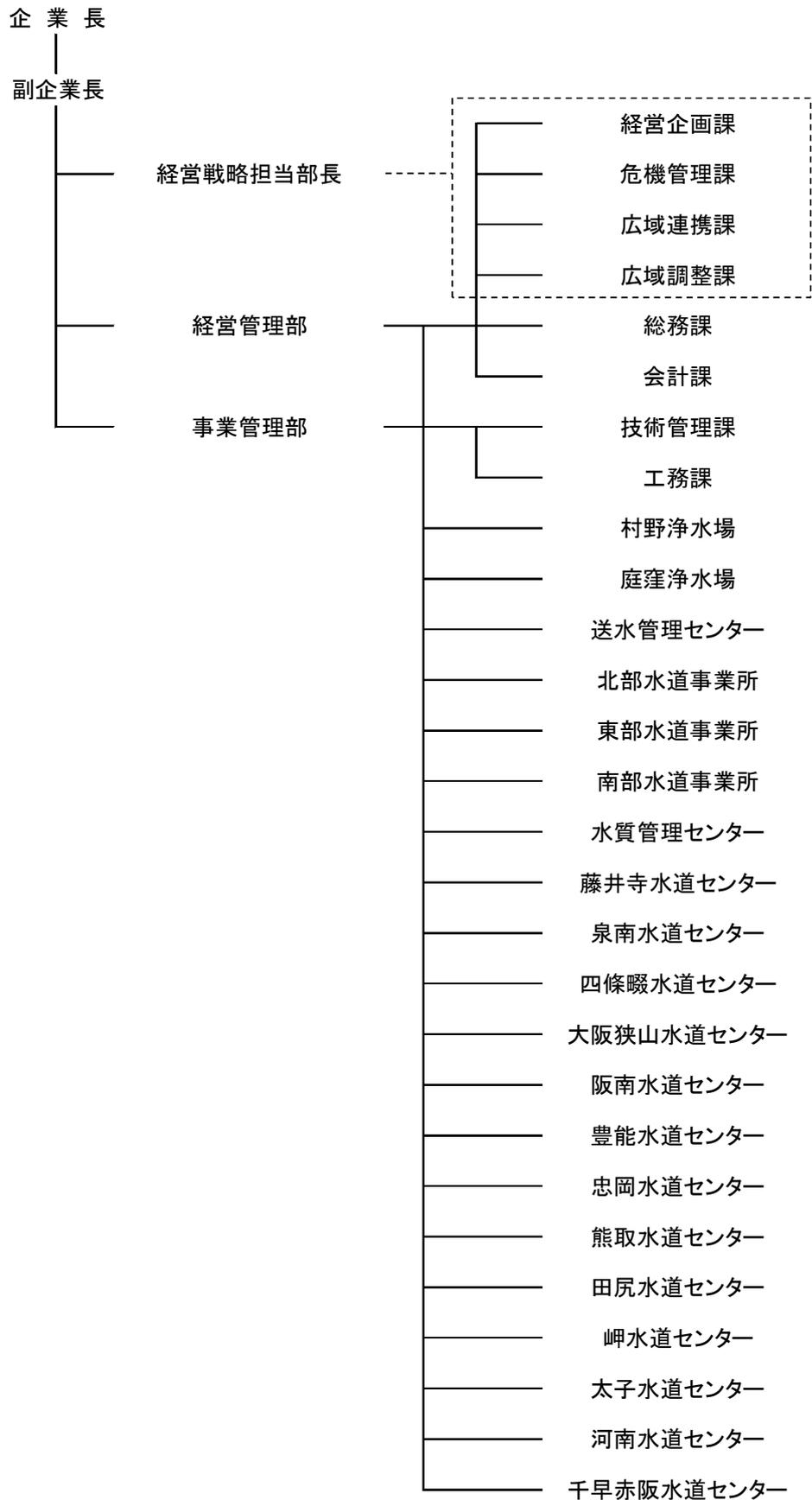
○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成  
 (※) 計画値は、令和3年1月の料金改定時に策定した経営シミュレーションから算出

1 組織



機構図

(令和3年4月1日現在)



職員数 568人  
(短時間再任用職員は除く。)

## 2 首長会議・運営協議会

### (1) 首長会議

企業団の事業運営に関わる特に重要な事項を協議するため、構成団体42市町村の首長会議を開催しました。

	開催日	主な協議事項
第1回	令和2年10月9日	・工業用水道事業に係る料金改定及び減量制度について

### (2) 運営協議会（総会）

企業団の事業運営に関わる重要事項（条例の制定・改廃の原案、予算、決算など）を協議するため、構成団体42市町村の水道事業主担者等で構成する運営協議会（総会）を開催しました。

	開催日	主な協議事項
第1回	令和2年6月9日	・新型コロナウイルス感染症に係る対応について など
第2回	7月2日	・令和2年7月臨時会提出予定議案について ・中期経営計画2015－2019及び市町村域水道事業アクションプランの達成状況について など
第3回	9月16日	・工業用水道事業に係る料金改定及び減量制度について など
第4回	10月22日	・11月定例会提出予定議案について など
第5回	令和3年1月19日	・令和3年2月定例会提出予定議案について ・大阪広域水道企業団と藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町との水道事業の統合に向けての検討、協議について ・市町村域水道事業における料金改定の考え方について など
第6回	3月24日	・今後の運営協議会役員等の選任について

## 3 経営・事業等評価委員会

企業団が実施する各事業の経営状況並びに建設事業の必要性及び効果等の評価について意見を聴くため、学識経験者等の第三者から構成される経営・事業等評価委員会を設置しています。

	開催日	主な協議事項
第1回	令和2年9月30日	・工業用水道事業における減量制度及び料金改定について ・大阪広域水道企業団と藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町との水道事業の統合に向けての検討、協議について など
第2回	令和3年3月16日	・千早赤阪水道事業料金検討部会の設置について

## 4 企業団議会

構成団体の議会の議員の中から選出された33人の議員で構成しています。

### [議 長]

- ・令和元年8月9日～令和2年6月30日 畑 謙太郎 議員（藤井寺市選出）
- ・令和2年7月21日～令和2年10月6日 中谷 清豪 議員（阪南市選出）
- ・令和2年11月13日～令和3年6月30日 畑中 讓 議員（阪南市選出）

### [副議長]

- ・令和元年8月9日～令和2年6月30日 竹田 光良 議員（泉南市選出）
- ・令和2年7月21日～令和3年6月30日 永谷 幸弘 議員（豊能町選出）

### ○臨時会、定例会の審議結果

#### (1) 7月臨時会（令和2年7月21日）

報告2件及び議案1件が審議され、議案1件については、原案どおり可決されました。

【企業長提出報告】		
第1号	令和元年度大阪広域水道企業団水道事業会計予算繰越計算書報告の件	議決不要
第2号	令和元年度大阪広域水道企業団工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件	
【議員提出議案】		
大阪広域水道企業団議会議員派遣の件		原案可決
【その他】		
議長の選挙	中谷 清豪 議員 当選	
副議長の選挙	永谷 幸弘 議員 当選	

#### (2) 11月定例会（令和2年11月13日）

議案3件及び報告4件が審議され、議案3件については全て原案どおり可決され、報告4件については、議決不要の2件を除く2件が認定されました。

【企業長提出議案】		
第1号	大阪広域水道企業団工業用水道事業給水条例一部改正の件	原案可決
第2号	令和元年度大阪広域水道企業団水道事業会計剰余金処分の件	
第3号	令和元年度大阪広域水道企業団工業用水道事業会計剰余金処分の件	
【企業長提出報告】		
第1号	令和元年度大阪広域水道企業団水道事業会計決算報告の件	認 定
第2号	令和元年度大阪広域水道企業団工業用水道事業会計決算報告の件	
第3号	令和元年度決算に基づく資金不足比率報告の件	議決不要
第4号	債権放棄報告の件	
【その他】		
議長の選挙	畑中 讓 議員 当選	

(3) 2月定例会（令和3年2月16日）

議案7件が審議され、全て原案どおり可決されました。

【企業長提出議案】		
第1号	大阪広域水道企業団水道企業条例等一部改正の件	原案可決
第2号	大阪広域水道企業団水道事業給水条例一部改正の件	
第3号	令和2年度大阪広域水道企業団水道事業会計補正予算の件	
第4号	令和2年度大阪広域水道企業団工業用水道事業会計補正予算の件	
第5号	令和3年度大阪広域水道企業団水道事業会計予算の件	
第6号	令和3年度大阪広域水道企業団工業用水道事業会計予算の件	
【議員提出議案】		
第1号	大阪広域水道企業団議会会議規則一部改正の件	原案可決

○議員全員協議会の開催

会議規則第116条の規定に基づき設置した議員全員協議会を次のとおり開催しました。

開催日	協議事項等
令和2年 7月10日	・ 7月臨時会提出予定議案の説明聴取
7月21日	・ 7月臨時会の議事運営
11月 2日	・ 11月定例会提出予定議案の説明聴取
11月13日	・ 11月定例会の議事運営
令和3年 2月 5日	・ 2月定例会提出予定議案の説明聴取
2月16日	・ 2月定例会の議事運営

○議員定数等調査委員会の開催

会議規則第116条の規定に基づき設置した議員定数等調査委員会を次のとおり開催しました。

開催日	協議事項等
令和2年 8月18日	・ 議員定数、定数配分など議会構成のあり方について
11月 2日	
令和3年 2月 5日	

○議員派遣の実施

地方自治法第100条第13項の規定に基づき議員を派遣しました。

- ・ 目 的 企業団の浄水施設等の調査
- ・ 派遣場所 庭窪浄水場（守口市）
- ・ 期 間 令和2年10月13日、10月20日
- ・ 派遣議員数 19人（2日間合計）

## 5 監査

### [監査委員]

・令和元年8月9日～

代表監査委員：小田 利昭 委員（公認会計士）、監査委員：塩尻 明夫 委員（公認会計士）

### [監査委員協議会の開催]

監査結果、決算審査の意見及び翌年度の監査計画の決定等を行いました。

	実施日	協議内容
第1回	令和2年7月6日	例月現金出納検査結果 等
第2回	10月14日	令和元年度決算審査 等
第3回	令和3年1月21日	工事監査結果 等
第4回	3月17日	令和3年度監査計画（案） 等

### [監 査]

#### ○定期監査の実施

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査を実施しました（指摘・指示事項なし）。

#### ○随時監査（工事監査）の実施

地方自治法第199条第1項及び第5項の規定に基づき、対象工事の計画、設計、積算、契約、施工等が適正に行われているかについて、関係書類の審査、施工現場の調査及び関係職員からの説明聴取により監査を実施しました（監査実施工事数1件、指摘・指示事項なし）。

実施日	監査実施工事
令和2年12月15日	配水管布設工事（バイパス・堺市ほか）2工区

#### ○例月現金出納検査の実施

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づき、現金の出納、保管について、提出された出納計算書により、諸帳簿・諸表の計数確認、保管現金の確認、収入支出状況等の調査及び資金運用状況の調査並びに証拠書の確認等を行う検査を実施しました（指摘・指示事項なし）。

経営戦略 2020-2029 の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	①取水施設 磯島取水場の更新・耐震化	計画	→ R10					
		実績	— (基本設計入札不調)					
	(ア)村野浄水場西系浄水施設の更新	計画	→					
		実績	基本設計					
	②浄水施設 (イ)村野浄水場階層系浄水施設への後ろ過処理導入の検討	計画	→ R8					
		実績	基本設計					
(ウ)三島浄水場への後ろ過処理導入の検討	計画	→						
	実績	検討						
≪アクション1-2≫ (用供) ◆送水施設の更新・耐震化	①連絡管・ループ管の整備 (ア)河南連絡管	計画	→					
		実績	工事完了 (河南6工区) 実施設計 (河南7工区) 基本設計 (管路DB工区)					
	(イ)阪南岬送水管	計画	→					
		実績	工事 (1工区) 実施設計 (2工区)					

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)  
 △:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)  
 ×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)  
 ※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

※(用供)は水道用水供給事業、(水道)は水道事業、(工水)は工業用水道事業に係る取組

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	基本設計	基本設計	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計委託を2度発注したが、入札者がなかったため、令和3年度に改めて発注予定。</li> <li>施工手順等の見直しにより、工期短縮に努める。</li> </ul>
実績	— (基本設計 入札不調)			
予算	基本設計	基本設計 実施設計	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る対応により、業務に遅れが生じた(令和3年度に基本設計委託完了予定)。</li> <li>施工手順等の見直しにより、工期短縮に努める。</li> </ul>
実績	基本設計			
予算	基本設計	実施設計	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり実施。</li> </ul>
実績	基本設計			
予算	検討	検討	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり実施。</li> <li>本検討委託により整備箇所を決定(令和4年度予定)。</li> </ul>
実績	検討			
予算	工事 (河南6工区) 実施設計 (河南7工区) 基本設計 (管路DB工区) 管路DB発注	実施設計 (河南7工区) 管路DB発注	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者との協議に日数を要したため、管路DBの発注に遅れが生じた(令和3年度発注)。</li> <li>工事受注者と協議し、工期短縮に努める。</li> </ul>
実績	工事完了 (河南6工区) 実施設計 (河南7工区) 基本設計 (管路DB工区)			
※DB(デザイン・ビルド)：設計、施工を一括で発注する方式				
予算	工事 (1工区) 実施設計 (2工区)	工事 (1工区) (2工区)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり実施。</li> </ul>
実績	工事 (1工区) 実施設計 (2工区)			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	① 連絡管・ループ管の整備 (ウ)系統連絡管 ※庭窪～万博(櫻切山) (エ)千里幹線バイパス管	計画						
		実績	工事 (シールド工)					
		計画						
		実績	工事完了 (2工区) 工事 (3工区)					
	② 管路の更新・耐震化 (フ)4.5拡管路の更新 (イ)水管橋の耐震化 ※計画は完成年次を記載	計画						
		実績	基本検討 (4.5拡南部幹線) 実施設計 (4.5拡北部幹線) 工事 (5拡南部幹線)					
		計画						
		実績	基本設計 実施設計 工事 (2橋)		5橋	5橋	3橋	23橋
	③ポンプ場・浄水池の更新・耐震化 ※計画は完成年次を記載	計画						
		実績	工事 (藤井寺2号池) (小野原3・4号池) 工事完了 (千里2号池) 実施設計 (富田林)					
		計画	千里 2号池	藤井寺 2号池	小野原 3・4号池		小野原 1・2号池 藤井寺 1号池	奈佐原 富田林 美陵
		実績						
<<アクション1-3>> (用供) ◆設備の更新	①伝送システムの更新	計画						
		実績	DBM発注					R7

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)  
 △:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)  
 ×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)  
 ※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	工事 (シールド工)	工事 (シールド工) (二次覆工)	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地中障害物接触に伴う撤去対策により、シールド工に遅れが生じた(令和3年度にシールド工完了予定)。</li> <li>・今後の工事において工期短縮に努める。</li> </ul>
実績	工事 (シールド工)			
予算	工事 (2工区) (3工区)	工事 (3工区)	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3工区: 地元調整の結果、施工時間に関する条件に変更が生じたため、工事に遅れが生じた(令和3年度に工事完了予定)。</li> </ul>
実績	工事完了 (2工区) 工事 (3工区)			
予算	基本検討 (4.5拡南部幹線) 実施設計 (4.5拡北部幹線) 工事 (5拡南部幹線)	基本検討 (4.5拡南部幹線) 実施設計 (4.5拡北部幹線) 工事 (5拡南部幹線)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	基本検討 (4.5拡南部幹線) 実施設計 (4.5拡北部幹線) 工事 (5拡南部幹線)			
予算	基本設計 実施設計 工事 (2橋)	基本設計 実施設計 工事 (8橋)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	基本設計 実施設計 工事 (2橋)			
予算	工事 (藤井寺2号池) (小野原3・4号池) (千里2号池) 実施設計 (富田林)	工事 (小野原3・4号池) (藤井寺2号池) 実施設計 (富田林)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	工事 (藤井寺2号池) (小野原3・4号池) 工事完了 (千里2号池) 実施設計 (富田林)			
予算	DBM発注	DBM実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	DBM発注			

※DBM(デザイン・ビルド・メンテナンス) : 設計、施工、維持管理を一括で発注する方式

アクション	項目	ロードマップ							
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度		
施策の方向性① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	②自動検針システムの更新	計画							
		実績	—						
	③オゾン設備の更新 庭窪浄水場北系オゾン設備	計画							
		実績	実施設計						
	①施設の共同化・設備の集約 (水道) ◆施設の最適配置・ダウンサイジング	(7) 共同配水池の整備(泉南・田尻)	計画						
			実績	工事					
		(8) 配水池の共同利用(阪南・岬)	計画						
			実績	実施設計					
		(9) 集中監視制御設備の集約 北部エリア(豊能・能勢)	計画						
			実績						
南部エリア(泉南・阪南・忠岡・田尻・岬)	計画								
	実績	実施設計							

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	基本設計	基本設計	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注内容の精査により、発注を後送り(令和3年度に基本設計委託発注予定)。</li> <li>・今後の工期短縮に努める。</li> </ul>
実績	—			
予算	実施設計	BM発注	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※BM(ビルド・メンテナンス)：施工、維持管理を一括で発注する方式</p>
実績	実施設計			
予算	工事	工事	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	工事			
予算	実施設計	工事	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	実施設計			
予算				
実績				
予算	実施設計	工事	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul> <p>※ただし、忠岡水道事業については、隣接団体との水道施設の最適配置について検討を実施しているため、参加を見合わせ。</p>
実績	実施設計			

アクション	項目	ロードマップ							
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度		
施策の方向性 ① <<アクション1-4>> (水道) ◆施設の最適配置・ダウンサイジング 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	②施設の再構築 基幹ポンプ施設・管路の整備 (四條畷)	計画	→						
		実績	工事完了						
		計画	→						
		実績	工事						
	基幹配水池・管路の整備(豊能)	計画	→						
		実績	工事						
	基幹配水池の整備(忠岡)	計画	→					R8	
		実績	計画再検討(一時休止決定)						
	受水池、配水池等の廃止	計画	→					R10まで	
		実績	中野ポンプ場(四條畷)						
	<<アクション1-5>> (水道) ◆設備の更新	電気計装設備、ポンプ設備等の更新 ※計画は完成年次を記載	計画	11箇所	13箇所	10箇所	17箇所	9箇所	→
			実績	8箇所					
<<アクション1-6>> (水道) ◆バックアップ機能の強化	千早赤阪村内連絡管の整備(千早赤阪)	計画	→					R8	
		実績	工事						

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)  
 △:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)  
 ×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)  
 ※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	工事		○	・計画以上に進捗。
実績	工事完了			
予算	工事	工事	○	・計画どおり実施。
実績	工事			
予算	計画再検討	—	—	・現在、隣接団体との水道施設の最適配置(配水池の廃止)について検討を実施しているため、事業を一時休止。
実績	計画再検討 (一時休止決定)			
予算	中野ポンプ場 (四條畷)	野間口配水場 (豊能)	○	・計画どおり実施。
実績	中野ポンプ場 (四條畷)			
予算	11箇所	15箇所	△	・3箇所は、工事の入札不調等により工事に遅れが生じた(令和3年度完了予定)。
実績	8箇所			
予算	工事	工事	○	・計画どおり実施。
実績	工事			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
施策の方向性① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	<<アクション1-7>> (水道) ◆管路の更新・耐震化	基幹管路、重要給水施設管路、老朽管の更新・耐震化	計画	継続実施			
			実績	設計・工事			
	<<アクション1-8>> (水道) ◆水処理課題に対応した施設整備(自己水)	紫外線処理設備の導入(太子)	計画				R8
			実績				
	<<アクション1-9>> (工水) ◆取水・浄水施設の更新・耐震化(大庭浄水場)	①調整池及び配水ポンプ棟の整備	計画				
			実績	工事(基礎工)			
		②取水ポンプ棟の整備	計画				R7
			実績	基本設計			
	<<アクション1-10>> (工水) ◆配水管路の更新・耐震化	①連絡管・ループ管の整備 大庭～三島連絡管	計画				
			実績	工事(シールド工)			
	②管路の更新・耐震化 (ア)管路の更新	計画	継続実施				
		実績	設計・工事				

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	設計・工事	設計・工事	○	・計画どおり実施。
実績	設計・工事			
予算				
実績				
予算	工事 (基礎工)	工事 (躯体工)	△	・関係者との協議に日数を要し、工事の進捗に遅れが生じた(令和4年度完了予定)。
実績	工事 (基礎工)			
予算	基本設計	基本設計	○	・計画どおり実施。
実績	基本設計			
予算	工事 (シールド工)	工事 (シールド工) (二次覆工)	×	・地中障害物接触に伴う撤去対策により、シールド工に遅れが生じた(令和4年度完了予定)。
実績	工事 (シールド工)			
予算	設計・工事	設計・工事	○	・計画どおり実施。
実績	設計・工事			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性① 災害に強く、安全で良質な水を持続して供給できる施設を整備します	② 管路の更新・耐震化 (イ)水管橋の耐震化 ※計画は完成年次を記載	計画	継続実施			→		
		実績	基本設計 実施設計			3橋	6橋	16橋
	③ バイパス配水管の整備 (ア)新家～大泉バイパス配水管	計画	継続実施			→		
		実績	基本設計 実施設計					
	(イ)臨海の丘～高石バイパス配水管	計画	→					
		実績	1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工)					
≪アクション1-10≫ (工水) ◆配水管路の更新・耐震化	① 伝送システムの更新	計画	→					R7
		実績	DBM発注					
	② 自動検針システムの更新	計画	→					
実績		—						
③ ポンプ設備の更新 大庭配水ポンプ	計画	→						
	実績	工事						

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	基本設計 実施設計	基本設計 実施設計 工事 (4橋)	○	・計画どおり実施。
実績	基本設計 実施設計			
予算	基本設計 実施設計	基本設計 実施設計	○	・計画どおり実施。
実績	基本設計 実施設計			
予算	1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工)	1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工)	○	・計画どおり実施。
実績	1工区 (二次覆工) 2工区 (シールド工)			
予算	DBM発注	DBM実施	○	・計画どおり実施。  ※DBM(デザイン・ビルド・メンテナンス) : 設計、施工、維持管理を一括で発注する方式
実績	DBM発注			
予算	基本設計	基本設計	△	・発注内容の精査により、発注を後送り(令和3年度に基本設計委託発注予定)。 ・今後の工期短縮に努める。
実績	—			
予算	工事	工事	△	・関連工事の遅れに伴い、令和4年度完成予定。
実績	工事			

経営戦略の進捗状況

	アクション	項目	ロードマップ						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性①	≪アクション1-11≫ (工水) ◆設備の更新	③ポンプ設備の更新	大庭取水ポンプ						R7
			実績						基本設計
		八尾配水ポンプ							
		実績						工事	

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予算	基本設計	基本設計	○	計画どおり実施。
実績	基本設計			
予算	工事	工事	○	計画どおり実施。
実績	工事			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性② 構成団体と相互に連携しながら、災害などに迅速に対応します	①事業継続計画(BCP)に基づく災害に備えた訓練等の実施	計画	継続実施			→		
		実績	・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水訓練等					
	<<アクション2>> ◆災害対策 ②市町村、地域住民、他の水道事業者などと連携した訓練の実施	計画	継続実施			→		
		実績	・地震等緊急時対策合同訓練 ・遠隔地訓練					
	③災害用備蓄水等の配備	計画	災害用備蓄水を100万本配備			→		
		実績	25万本製作					
施策の方向性③ 安全で良質な水をお届けします	理① ① 原水の 水質に 適切な浄水処理の実施 に応じた浄水処	計画	継続実施			→		
		実績	実施					
	的② ② 水源から給水柱までの総合 水安全計画の運用によるリスク管理	計画	継続実施			→		
		実績	実施					
施策の方向性④ <<アクション4-1>> ◆収入の確保	未利用地の売却・用地の有効活用(178百万円)	計画	→					
		実績	調査					

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水訓練等	・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水訓練等	○	・計画どおり実施。
実績	・配備体制訓練 ・危機管理訓練 ・応急給水訓練等			
予定	・地震等緊急時 対策合同訓練 ・遠隔地訓練	・地震等緊急時 対策合同訓練 ・遠隔地訓練	○	・計画どおり実施。
実績	・地震等緊急時 対策合同訓練 ・遠隔地訓練			
予定	25万本製作	25万本製作	○	・計画どおり実施。
実績	25万本製作			
予定	実施	継続実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粒状活性炭の購入仕様の見直し、粒状活性炭吸着池の洗浄条件変更等により浄水処理を強化。</li> <li>・令和2年度から水質管理目標設定項目に新たに追加されたPFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)について、検出状況を把握し必要な対応を実施。</li> </ul>
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水安全計画の適切な運用の実施。</li> <li>・水道用水供給事業及び4水道事業の水安全計画を改定。</li> </ul>
実績	実施			
予定	調査	調査	○	・法務局調査、測量、地下埋設物調査等、売却に向けた調査を実施。
実績	調査			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ							
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度		
施策の方向性④ さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します	<<アクション4-2>> ◆支出の縮減	①会議等開催場所の変更 (6～10百万円)	計画	→					
		実績	実施						
		②管理職手当の見直し (19百万円)	計画	実施	→				
	実績	実施							
	③設計施工一括発注方式による建設コストの縮減 (173百万円)	計画	→						
	実績	—							
	<<アクション4-3>> ◆適正な料金水準の検討	① 用供事業 現行料金の維持	計画	→		現行料金の維持	→		
			実績	維持					
		② 水道事業 適正な料金水準・改定時期の検討 (全水道事業)	計画	→		適正な料金水準・改定時期の検討	→		
実績			検討 (千早赤阪)						
③ 工水事業 料金改定の実施及び基本使用水量のあり方の検討		計画	→	料金改定及び検討結果の反映			→		
		実績	料金改定を実施 基本使用水量の減量実施を決定						

( )内の金額は計画期間中の効果額計

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	実施	継続実施	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業団施設での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部会場使用料が発生。</li> <li>・令和3年度以降も新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案しながら、会議等の開催手法を検討していく。</li> </ul>
実績	実施			
予定	実施		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり実施。</li> </ul>
実績	実施			
予定	DB発注	DB発注	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との協議に日数を要したため、管路DBの発注に遅れが生じた(令和3年度発注)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※DB(デザイン・ビルド)：設計、施工を一括で発注する方式</p>
実績	—			
予定	維持	維持	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり。</li> </ul>
実績	維持			
予定	検討 (千早赤阪)	検討 (豊能・千早赤阪)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千早赤阪水道事業は令和4年4月、豊能水道事業は令和5年4月の料金改定に向けて検討を進める。</li> </ul>
実績	検討 (千早赤阪)			
予定	検討	基本使用水量の減量を実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月に料金改定を実施。 基本料金 32.4円/㎡⇒31.3円/㎡ 使用料金 10.4円/㎡⇒8.8円/㎡ 超過料金 85.6円/㎡⇒80.2円/㎡</li> <li>・令和3年度及び令和8年度にそれぞれ4万㎡/日の基本使用水量(契約水量)を減量予定。</li> </ul>
実績	料金改定を実施 基本使用水量の減量実施を決定			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
<<アクション4-4>> ◆効率的な業務執行体制の構築	業務運営体制の変更や業務処理方法の見直し等を検討	計画	検討結果に基づき可能なものから実施				
		実績	Web会議システム導入				
施策の方向性④ ◆民間活力の活用	①管路整備事業におけるDB方式の導入	計画	DB方式での発注	DB方式の検証対象事業の拡大に向けた検討			
	実績	—					
さらなる経営改革に取り組み、持続可能な経営基盤を構築します	②その他の分野における民間活力の活用	計画	検討				
	実績	包括委託の実施に向けた検討・発注準備					
<<アクション4-6>> ◆人材育成と技術継承	①実践的な研修を通じた人材育成	計画	継続実施				
	実績	実施					
	②資格取得の支援	計画	継続実施				
	実績	実施					
③市町との合同研修の実施	計画	継続実施					
	実績	実施					
④他団体との人事交流	計画	継続実施					
	実績	実施					

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)  
 △:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)  
 ×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)  
 ※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	検討	検討	○	・検討結果に基づき実施。
実績	Web会議システム導入			
予定	DB発注	DB発注	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との協議に日数を要したため、管路DBの発注に遅れが生じた(令和3年度発注)。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※DB(デザイン・ビルド)：設計、施工を一括で発注する方式</p>
実績	—			
予定	検討	検討	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)に係る水道料金徴収等業務の包括委託について、一括発注の検討を開始し、発注準備を実施(令和4年4月から業務開始予定)。</li> <li>・仮想発電所(VPP:バーチャルパワープラント)事業に参画予定(令和3年度)。</li> </ul>
実績	包括委託の実施に向けた検討・発注準備			
予定	実施	継続実施	○	・各種研修を30件実施。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・「酸素欠乏硫化水素危険作業主任者」など13種類の資格取得を支援し、69人が資格を取得。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・「大阪広域水道企業団技術研究発表会」をweb方式により実施し、市町から15人が参加。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・職員の資質向上のため、11団体(うち1団体は新規)との人事交流を実施。
実績	実施			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
施策の方向性⑤ 水道事業の全体最適化に向け、府域一水道を目指します	①4市町の水道事業との統合	計画	検討協議		水道事業統合後の運用開始		→
		実績	事業認可取得				
	②市町水道事業との統合に係る検討・協議及び水道事業統合促進基金の活用 ≪アクション5-1≫ ◆広域連携の推進	計画			・協議の整った市町と統合に向けた検討、協議 ・基金の活用方法の検討、実施		→
		実績	・最適配置案(中間報告)策定 ・統合水道料金システムの構築に向けた調査検討				
	③府域一水道に向けた水道のあり方協議会への参画及び市町水道事業との更なる連携の強化	計画			・協議会への参画 ・市町水道事業との連携方策の検討等		→
		実績	・協議会への参画 ・営業業務等に係る調査				
施策の方向性⑥ エンドユーザーの立場に立ち、お客様サービスの向上に努めます	≪アクション6-1≫ ◆お客様の利便性の向上 お客様サービスの水準の向上	計画	サービス水準の向上をめざした取組・検討の実施				→
		実績	水道料金のスマートフォン決済の導入を決定				
≪アクション6-2≫ ◆情報公開・情報発信	①業務指標の公表	計画			継続実施		→
		実績	実施				
	②各種パンフレットの配布	計画			継続実施		→
		実績	実施				

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	事業認可取得	事業開始	○	・事業認可取得(令和3年3月)、水道事業開始(令和3年4月)。
実績	事業認可取得			
予定	・最適配置案(中間報告)策定 ・統合水道料金システムの導入に向けた調査検討	・最適配置案(最終報告)策定 ・統合水道料金システム調達仕様書作成等	○	・10団体と水道施設の最適配置等について検討を実施(令和4年1月覚書締結予定)。 ・水道料金徴収等業務の標準化(案)及び水道料金システムの構築に向けた検討を開始。
実績	・最適配置案(中間報告)策定 ・統合水道料金システムの構築に向けた調査検討			
予定	・協議会への参画 ・連携方策の検討	・協議会への参画 ・連携方策の検討	○	・水道基盤強化計画の方向性などの議論を実施。 ・庭窪浄水場の連携施策について、大阪市と検討項目案を抽出。 ・水道料金徴収等業務の標準化(案)の検討に伴い、大阪市及び堺市の営業業務等に係る調査を実施。
実績	・協議会への参画 ・営業業務等に係る調査			
予定	検討	検討	○	・水道料金の新たな支払方法となるスマートフォン決済の導入を決定(令和3年度4月から各水道センターにおいて順次導入)。
実績	水道料金のスマートフォン決済の導入を決定			
予定	実施	継続実施	○	・企業団ウェブサイトにも業務指標を掲載。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・大阪の水道2,380部、知って得する水の知恵1,650部を配布。
実績	実施			

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
施策の方向性⑥  エンドユーザーの立場に立ち、お客様サービスの向上に努めます	③ウェブページの充実  <<アクション6-2>> ◆情報公開・情報発信	計画	継続実施		→		
		実績	実施				
	④双方向のコミュニケーションの促進	計画	検討実施		→		
		実績	実施				
<<アクション6-3>> ◆水道に関するPR	①水道水のPRイベント 利き水会の実施	計画	継続実施		→		
		実績	—				
	各種イベントの実施	計画	随時実施		→		
		実績	—				
	②浄水場の見学 浄水場見学案内の実施	計画	継続実施		→		
		実績	実施				
	出かける浄水場の実施	計画	継続実施		→		
		実績	実施				

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	実施	継続実施	○	・企業団ウェブサイトをリニューアル(令和3年3月)。
実績	実施			
予定	実施	検討実施	○	・企業団ウェブサイト、一部水道センターのお問合せフォームを試行的に設置。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	△	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施を見送り。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、関係団体と調整。
実績	—			
予定	実施	継続実施	△	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全てのイベント実施を見送り。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、イベント関係者と調整。
実績	—			
予定	実施	継続実施	○	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、浄水場見学を一時停止したことにより、参加人数が減少(955人)。 ・浄水場見学に代わる教材を作成し、希望する小学校に提供予定(令和3年度)。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部の実施予定校から辞退があったが、感染防止対策を行いながら14校で実施(1,028人)。
実績	実施			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
施策の方向性⑦ 社会的責務を果たし、信頼される企業団をめざします	①温室効果ガス総排出量 (188千t-CO <sub>2</sub> )	計画	前年度比1%ずつ削減				→
		実績	実施				
	②商用電力使用量 (427百万kWh)	計画	前年度比1%ずつ削減				→
		実績	実施				
	<<アクション7-1>> ◆温室効果ガス総排出量の削減 ※用供・工水 ③単位給水量当たりの電力使用量 (707kWh)	計画	低減				→
		実績	実施				
	④再生可能エネルギー(太陽光・水位差・受水圧)による発電 (278万kWh)	計画	継続実施				→
		実績	実施				
	⑤環境配慮型の電力調達の実施	計画	継続実施				→
		実績	実施				
	<<アクション7-2>> ◆省エネルギー機器の導入 LED照明への転換	計画	検討結果に基づき可能なものから転換				→
		実績	実施				

( )は平成30年度実績

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	実施	継続実施	○	・温室効果ガス総排出量:計153.0千t-CO <sub>2</sub> (前年度比97%)
実績	実施			
予定	実施	継続実施	△	・商用電力使用量:444百万kWh(前年度比101%) ・給水量の増加に伴う電力使用量の増加。  ※給水量:水道用水供給事業及び水道事業の有収水量と工業用水道事業の実使用水量の合計量
実績	実施			
予定	実施	継続実施	△	・電力使用量:727kWh(前年度比100%) ・浄水池清掃等に伴う電力使用量の増加。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・発電量:368万kWh
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	・泉佐野ポンプ場で実施(契約事業者:中部電力ミライズ(株))。
実績	実施			
予定	検討	検討	○	・富田林ポンプ場屋外灯 ・一津屋取水場管理室屋内 ・万博公園浄水施設屋内
実績	実施			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ						
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度	
施策の方向性⑦ 社会的責務を果たし、信頼される企業団をめざします	<<アクション7-2>> ◆省エネルギー機器の導入 環境にやさしい物品の調達	計画	継続実施			→		
		実績	実施					
	<<アクション7-3>> ◆エコカーの調達 ペーパーレス化の推進	計画	維持向上			→		
		実績	実施					
	<<アクション7-3>> ◆エコカーの調達 エコカーの調達	計画	車両更新時に可能なものから調達			→		
		実績	実施					
<<アクション7-4>> ◆廃棄物の減量・有効利用	①浄水発生土の有効利用率 (75.5%)	計画	各年度：75%以上			→		
		実績	83%					
	②特定建設資材の有効利用率 (100%)	計画	各年度：100%			→		
		実績	100%					
	③建設発生土の有効利用率 (100%)	計画	各年度：95%以上			→		
		実績	100%					

( )は平成30年度実績

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	実施	継続実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙</li> <li>・トイレ用ペーパー</li> <li>・トナーカートリッジ(共用プリンター等)</li> </ul> それぞれ再生紙などリサイクル品を調達。
実績	実施			
予定	実施	継続実施	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙購入枚数:前年度比106%</li> <li>・令和3年度中に、会議のペーパーレス化等に向けた検討を行う。</li> </ul>
実績	実施			
予定	実施	継続実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新対象車両(全5台)をエコカーに切替。</li> </ul>
実績	実施			
予定	75%以上	75%以上	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効利用量19,465t/総発生量23,461t(中間処分・販売・公共間無償譲渡で有効利用)。</li> </ul>
実績	83%			
予定	100%	100%	○	
実績	100%			
予定	95%以上	95%以上	○	
実績	100%			

経営戦略の進捗状況

アクション	項目	ロードマップ					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7～11年度
施策の方向性⑦	<<アクション7-4>> ◆廃棄物の減量・有効利用	④使用済粒状活性炭再資源化率(100%)	計画	各年度: 100%			→
		実績	100%				
	①海外研修生の受入れ等	計画	ニーズに基づき実施			→	
		実績	—				
	<<アクション7-5>> ◆国際貢献	②水道事業の国際展開に係る情報収集	計画	継続実施			→
			実績	実施			

( )は平成30年度実績

○:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも達成(見込み)

△:「当該年度の目標」又は「計画期間内の目標」いずれかが未達成(見込み)

×:「当該年度の目標」及び「計画期間内の目標」いずれも未達成(見込み)

※具体的な数値目標の設定がないものについては、取組内容を考慮し、個別に判断

各年度の取組			進捗状況	
	令和2年度	令和3年度	評価	取組内容、今後の方針等
予定	100%	100%	○	
実績	100%			
予定	実施	継続実施	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、技術交流の覚書を締結しているタイ王国首都圏水道公社(MWA)との研修に伴う受入れは未実施。</li> <li>・令和3年度以降、リモートによる研修の実施や技術支援について検討していく。</li> </ul>
実績	—			
予定	実施	継続実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体水道国際展開プラットフォーム定例会に出席。</li> </ul>
実績	実施			



# 大阪広域水道企業団

〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目3番12号マライト谷町ビル  
TEL : 06 (6944) 8023

